

# FRONTIER



No.64  
2024/2/20

## Contents

- ・2024年新年交礼会・北海道大学ホームカミングデー2023
- ・活躍するリーダーに聞く〈東洋エンジニアリング株式会社 細井栄治さん〉
- ・昭和の北大 永遠の日々を懐く〈細井眞澄さん〉・北大認定ブランド商品
- ・グローバル同窓生〈寄稿〉・職場奮戦記〈寄稿〉
- ・文系4学部合同東京同窓会・ハンドボール部OB会総会

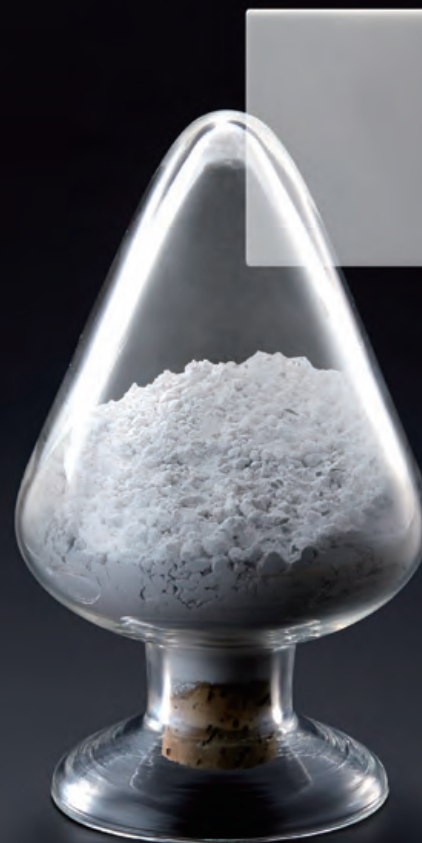
表紙の写真 (左から) 上段: 榎本愛さん、初谷長治さん [絵画]、栗原貴史さん、文系4学部合同東京同窓会  
中段: 細井栄治さん、武田寿弘さん、細井真澄さん、中田篤さん  
下段: 多磨霊園墓参 参加者、後藤丈治さん、北大ハンドボール部OB会

2024年度 東京同窓会 新年交礼会 総務委員会 JAZZ LIVE PARTY / 年頭のごあいさつ 横田浩	4
北海道大学ホームカミングデー2023 創基150周年カウントダウンイベント 北海道大学社会共創部広報課	6
昭和の北大 永遠の日々を懐う 夢を現実に! ~人との出会いがすべての出発点~ 細井真澄	18
風景との対話 ベルギー「ブルージュ」と言う街 初谷長治	23
トップインタビュー 東洋エンジニアリング株式会社 細井栄治さん 広報委員会	24
多磨霊園墓参 2023年の墓参を終えて 浅田清	29
文系合同東京同窓会 5年ぶりに開催される 菅楚誠	30
エルム談話室 再開したエルム談話室 平田更一	32
校友会エルム 保護者向け就職相談会 校友会エルム事務局	35
グローバル同窓生 「北方民族博物館から北の世界へ」 中田篤 「海外赴任と語学と私」 武田寿弘	36 38
職場奮戦記 「水素を使用した農業と発酵の可能性」 榎本愛 「仕事も家庭も日々奮戦 - 弁護士&教員&兼業主夫 -」 栗原貴史 「北から陽が昇ることの証明」 後藤丈治	40 42 44
北大ハンドボール部OB会総会を開催 矢崎健一	46
北大認定ブランド商品の取り組み 産学・地域協働推進機構 城野理佳子	50
名刺広告	52
新入会員・訃報	55
北海道大学の近況(2023年夏・秋) 北海道大学社会共創部広報課	56
事務局からのお知らせ / 4コマ「くらあくとの北大あるある」 高野葵	62
北海道の花 「ツリフネソウ」 鮫島惇一郎	64

## 企業広告

株式会社トクヤマ / 日本軽金属株式会社 / 松尾ジンギスカン / 株式会社日建設計 北海道オフィス  
中外製薬株式会社 / 株式会社プライダル / 株式会社ぶらう / 株式会社コスモスイニシア ※順不同

# 世界 を変える。



## トクヤマの放熱材料

高度化した電子部品の熱を逃す。  
性能を守る。

トクヤマの放熱材料は、  
世界を変えています。

[www.tokuyama.co.jp](http://www.tokuyama.co.jp)

もっと未来の人のために TOKUYAMA 

JAZZ LIVE PARTY



日時：2024年1月19日（金）18：30～  
会場：アゴラカフェ日本橋



横田浩会長挨拶



志済聡子副会長挨拶

タツフが丹羽浩之さん（S59法）を訪問して、丹羽さんがJAZZ研OBであることが分かったことです。新年交礼会

2019年1月以来、5年ぶりに制限のない新年交礼会が2023年1月19日（金）、アゴラカフェ日本橋店（日本橋三井タワー2階）で開催されました。コロナ前の人数同様の90名もの同窓生が参加し、賑やかな新年会となりました。

冒頭の横田会長の挨拶では、自粛していた活動の再開に向けて、改めて東京同窓会の行事への参加や創基150周年を迎える大学への協力の呼びかけがあり、続いて志済副会長により、元旦に発生した能登半島地震で亡くなられた方々への献杯が行われました。

今回は、久々に多くの方を集める東京同窓会主催の行事となり、年の初めの盛り上げにふさわしい催しとしてジャズライブを企画しました。きっかけは北大東京オフィスのス

でのジャズ演奏をお願いしたところ、快く引き受けていただき、このイベントのためにJAZZ研後輩の堀井大輔さん（H15文、ベアス）・敬子さん（藤女子卒、ピアノ）などの現役プロミュージシャンを集めていただき一夜限りのカルテット「北大フロンティアJAZZカルテット」の結成となりました。参加した方には十分にジャズ演奏を楽しんでもらえたことと思います。

食事やジャズを楽しみ、最年長の笹田琢夫さん（S31法）から最年少の千葉優作さん（R3工）まで世代を超えた同窓生が交流できるのも同じキャンパスで大学時代を過ごした思い出を共感できるからでしょう。会の締めは、元応援団の岩崎哲也さん（S59工）による前口上で「都ぞ弥生」を全員で歌い散会となりました。最後になりましたが、丹羽さんはじめジャズ演奏者の皆さまには大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。



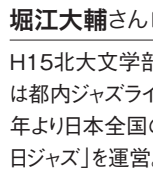
北大フロンティアJAZZカルテット

●演奏者の紹介



丹羽浩之さん(コントラバスクラリネット)

S59北大法学部卒。在学中はテナーサクソ奏者として札幌・小樽のジャズクラブで活動。1890年家業を引き継ぎ音楽活動休止、現職は永柳工業(株)社長。60歳前にコントラバスクラリネットに目覚め、音楽活動を再開。



堀江大輔さん(b)

H15北大文学部卒、北大ジャズ研究会OB。現在は都内ジャズライブハウスで精力的に活動。2021年より日本全国のジャズライブ情報検索サイト「今日ジャズ」を運営。URL:https://kyoujazz.com/



堀江敬子さん(pf)

H14藤女子大文学部卒、北大ジャズ研究会OG。2021年に初のリーダーCD「Start Line」をowlwing recordよりリリース。



相良怜さん(Fg)

洗足学園音楽大学音楽学部を最優秀賞を得て卒業。同大学院および同大アンサンブルアカデミー修了。フリーランスのファゴット奏者としてさまざまな分野で活動。



最年長の笹田さん(左)と石川副会長



新渡戸カレッジの先生と教え子

年頭のいきこやん

東京同窓会会長 横田浩 (S60経)

明けましておめでとうございます。コロナが落ち着き、4年ぶりに従来のような賑やかな新年交礼会を開催することができて大変嬉しく思います。本日はたくさんの方々にご参加いただきありがとうございます。

舞い申し上げます。不穏な気持ちになる年明けではありませんが、JALの乗客全員が奇跡的に無事避難できたことは、世界からも称賛され、改めて日本人の真面目さと責任感の強さを認識いたしました。2024年は甲辰(きのえつ)

今年は、能登半島地震とその支援に向かう海保と航空機の衝突事故という悲しいことが元旦から続けて起きてしまいました。被災された皆様やご家族様に心からお見

の年回りで縁起が良い年といわれています。本日お集まりの皆様にとって良い年となりますよう祈念いたします。さて今年の東京同窓会は、若い

方々の参加促進などいよいよ本来の活動に取り組んで参ります。春の「新社会歓迎・北大東京ジンパ」においては、昨年は急な開催で準備が間に合わず、360名程度の小規模なイベントとなりましたが、今年5月19日(日)に開催する「2024年ジンパ」では2020年から中断していたギネスに挑戦いたします。参加者の人数目標を2000名に掲げ盛大なイベントを目指しますので、同窓会の皆様にはお友達へのお声かけにご協力をお願いいたします。

大学では2026年の創基150周年に向けた活動をますます本格化し、世界に羽ばたく人材育成や研究体制の強化を目指した周年事業などを計画しているようです。東京同窓会としてもできるだけのサポートをしていきたいと考えておりますので、会員の皆様をサポートや応援をよろしくお願いたします。最後になりますが、今年一年の会員の皆様やご家族様のご健勝とご多幸、そして東京同窓会のますますの発展をお祈り申し上げます。



桜木氏、岡田教授



桜木氏に質問する参加者



会場の様子

文系4部局合同企画は、公開シンポジウム「出会いの数だけドラマは生まれる」と題して同窓生、教職員、学生及び市民を対象に実施しました。今回は対面とオンライン

9月30日(土) 14時~16時  
対面・オンラインによる  
ハイブリッド開催  
参加者117名

**部局・同窓会主催行事**  
文学部・教育学部・法学部・経済学部  
文学部・教育学部・法学部・経済学部合同企画 公開シンポジウム

その後、学生団体による歓迎ステージとして、初めに北海道大学応援団による、校歌「永遠の幸」と応援歌「環路みがく」の2曲が披露された後、北海道大学テコンドークラブによる演武が披露されました。

引き続き、サステイナビリティ推進機構と連携協定先による活動報告が行われ、フィナーレは、恵迪寮同窓会の呼びかけによる「都ぞ弥生」の斉唱で締め括りました。

文学部同窓会は、北大ホームカミングデー当日の9月30日(土)に、人文・社会科学総合教育研究棟において、令和5年度第24回総会を対面とZoomによる遠隔で開催しました。対面11人、遠隔1人と、出席者は少人数でしたが、昨年度新たに役員に就任した同窓生や、新たに北大の国際連携機構に教授として赴任された同窓生のほか、退職教員の方の参加もありました。総会では、令和4年度の活動報告として、同窓生の活躍を顕彰する第19回「楡文賞」を、新潮文学振興会主催の2022年度第21回小林秀雄賞を受賞された朴舜起氏に授与したこと、同窓会誌『楡文』第24号が発行されたことなどが報告され、令和4年度会計決算報告と会計監査報告が承認されました。また、令和5年度の活動計画として、昨年度と同様に第20回「楡文賞」の募集を行なうことや、コロナ禍により3年にわたって開催されなかった同窓会主催の祝賀会を、今年度は久しぶりに開催することなどを決定し、令和5年度会計予算が審議ののち

インによるハイブリッドで実施し117名の参加がありました。資金清博総長並びに今年度担当部局の久保田肇経済学部長による挨拶の後、2013年に直木賞を受賞した小説家の桜木紫乃氏、司会の岡田美弥子教授による対談形式で行われ、桜木氏の生い立ちやエピソード、作品の作り方など軽快な会話の中で進行し、会場は終始笑い声に包まれました。

文学部同窓会では、令和5年度第24回総会を対面とZoomによる遠隔で開催しました。対面11人、遠隔1人と、出席者は少人数でしたが、昨年度新たに役員に就任した同窓生や、新たに北大の国際連携機構に教授として赴任された同窓生のほか、退職教員の方の参加もありました。総会では、令和4年度の活動報告として、同窓生の活躍を顕彰する第19回「楡文賞」を、新潮文学振興会主催の2022年度第21回小林秀雄賞を受賞された朴舜起氏に授与したこと、同窓会誌『楡文』第24号が発行されたことなどが報告され、令和4年度会計決算報告と会計監査報告が承認されました。また、令和5年度の活動計画として、昨年度と同様に第20回「楡文賞」の募集を行なうことや、コロナ禍により3年にわたって開催されなかった同窓会主催の祝賀会を、今年度は久しぶりに開催することなどを決定し、令和5年度会計予算が審議ののち

上記議案の審議に引き続き、教育学研究の崎田嘉寛准教授から研究活動の紹介及びクラウドファンディングへの協力依頼が参加者に対して行われました。

承認されました。さらに、今年度は役員改選の年度にあたり、2年任期で新たな役員が選出されました。総会ののち、総会参加者は、文系4部局合同企画の公開シンポジウムに参加しました。

文学部同窓会は、北大ホームカミングデー当日の9月30日(土)に、人文・社会科学総合教育研究棟において、令和5年度第24回総会を対面とZoomによる遠隔で開催しました。対面11人、遠隔1人と、出席者は少人数でしたが、昨年度新たに役員に就任した同窓生や、新たに北大の国際連携機構に教授として赴任された同窓生のほか、退職教員の方の参加もありました。総会では、令和4年度の活動報告として、同窓生の活躍を顕彰する第19回「楡文賞」を、新潮文学振興会主催の2022年度第21回小林秀雄賞を受賞された朴舜起氏に授与したこと、同窓会誌『楡文』第24号が発行されたことなどが報告され、令和4年度会計決算報告と会計監査報告が承認されました。また、令和5年度の活動計画として、昨年度と同様に第20回「楡文賞」の募集を行なうことや、コロナ禍により3年にわたって開催されなかった同窓会主催の祝賀会を、今年度は久しぶりに開催することなどを決定し、令和5年度会計予算が審議ののち

承認されました。さらに、今年度は役員改選の年度にあたり、2年任期で新たな役員が選出されました。総会ののち、総会参加者は、文系4部局合同企画の公開シンポジウムに参加しました。

# 北海道大学 ホームカミングデー 2023



## 創基150周年カウントダウンイベント 北海道大学社会共創部広報課

9月29日(金)から10月1日(日)の3日間、「北海道大学ホームカミングデー2023」を開催しました。

今年のホームカミングデーは、2026年に迎える創基150周年のカウントダウンイベントとして位置付けて機運醸成を図るとともに、さらにSDGs活動の一環として開催した結果、全学行事並びに各部局・同窓会主催行事に延べ1628人が参加されました。

今年度の多くの行事は対面開催ということもあり、参加者は各々楽しいひとときを過ごされたと思われまます。

なお、来年度の開催は、令和6年9月28日(土)を予定しておりますので、同窓生はもとより一般市民の皆様のご参加をお待ちしております。

(社会共創部広報課卒業生・基金室)

### 全学行事

**社会共創部広報課卒業生・基金室**  
**歓迎式典・記念講演会**  
9月30日(土) 10時~12時  
学術交流会館講堂  
集客151名、ライブ配信視聴者99名

ホームカミングデーの全学行事として「歓迎式典・記念講演会」を集客開催とオンラインのハイブリッド形式で行いました。

会場となった学術交流会館講堂では、資金清博総長をはじめ、出演者が参加するなか、北海道大学交響楽団のモーツァルト弦楽四重奏曲第17番「狩」の演奏で式典の幕を開けました。

司会は本学東京オフィス特定専門職員の脇ゆうりかが務め、初めに資金総長から、創基150周年の4年先となる2030年をターゲットイヤールとして、「Excellence」と「Extension」を明確に可視化し、その統合による好循環・エコシステム



講演する曾根教授



テコンドークラブによる演舞



「都ぞ弥生」の斉唱

その統合による好循環・エコシステムを期待している旨ご挨拶がありました。

続いて、北海道ワイン教育研究センター長の曾根輝雄教授による記念講演会では、「地域のサステナビリティ向上のためのワイン教育研究」と題し、なぜ北海道のためにワインが必要なのか、地域のサステイナビリティ向上の可能性を有するワインについて、北大のこれまでの教育研究の取組みと将来展望について講演がありました。



HU VISION2030について説明する資金総長



歓迎の挨拶を述べる杉江会長

ム創成への北海道大学の中期的ビジョンを示した「HUVISION2030」について説明がありました。

次に、杉江和男校友会長から、「比類なき大学に向けて」企業経営の目から「見る」と題し、本学が比類なき大学になるために、同窓生が社会との懸け橋になることを期待している旨ご挨拶がありました。

今年度の教育学部同窓会総会は、来賓4名を含む19名の参加者があり活発な意見交換がなされましたが、参加者数や同窓会費納入率の低迷が継続していることから何らかの対応や工夫が必要であることがあらためて共有された総会でもありました。

**法学部同窓会**

**2023年度定時総会**

9月30日(土)17時10分～17時40分  
北大インフォメーションセンター  
「エルムの森」内「カフェdeごはん」  
参加者36名

佐々木亮子同窓会長の開会挨拶、ご来賓である尾崎一郎法学研究科長・法学部長の挨拶後、去る7月10日(月)開催の同窓会役員会において審議され、総会提出議案として承認された次の議案について審議し、全会一致で承認されました。

- ①2022年度事業報告(案)、同収支決算報告(案)
- ②2023年度事業計画(案)、同収支予算(案)



開会挨拶をする佐々木同窓会長



尾崎法学研究科長・法学部長

③役員の一部改選(案) また、席上、次の事項について報告がなされました。

(1)2023年3月1日(水)、2022年度(第2回)北大法学部同窓会賞受賞者が決定され、3月23日(木)の令和4年度学士学位記授与式当日の午後2時から法学部小会議室において授賞式が挙行され、受賞者(個人2名、団体1団体)に佐々木同窓会長から表彰状及び金一封が授与されたこと。また、尾崎法学研究科長・法学部長がご来賓として出席され、受賞者にお祝いと激励の挨拶を述べられたこと。

(2)2016年度から着手した同窓会の財政健全化計画は2020年度をもって達成した旨既に報告済みであるところ、コロナ禍を踏まえ、さらに2年延長して取組(主に会費納入率の向上)を継続した結果、2022年度決算による繰越金は、計画着手前の5倍を超える金額となり、同窓会の恒久的な運営が可能となる強固な財政基盤が確立されたこと。

なお、総会開会に当たり、事務局より、本日の総会(この後開催される講演会及び懇親会も同じ)には在学生会員10名が参加されていることを会場内に

アナウンスしたところ、卒業生会員等から割れんばかりの拍手が聞かれました。

**法学部同窓会主催講演会**

9月30日(土)17時40分～18時30分  
北大インフォメーションセンター  
「エルムの森」内「カフェdeごはん」  
参加者48名(満席)

ホームカミングデー当日に行われていた同窓会主催講演会は、コロナ禍で中断されていたが、この度漸く3年ぶりに開催されました。講師は、法学部卒業生でありコロナ禍前はほぼ毎年のように会員懇親会等に出席されていた秋元克広札幌市長にお願いしました。様々な市政課題が山積する超多忙な日々であるにもかかわらず、ご快諾を頂き、併せて引続く会員懇親会にも参加頂くことになりました。「次なる100年に向けて」と題する配付レジュメに沿い、ソフトラ口調により、明治以降今日までの札幌市の発展史、国内外において高く評価されている札幌市の魅力やポテンシャル、しかし、2020年をピークに人口減少局面を迎えたこと、これからの札幌市の「まちづくり戦略ビジョン」、同市のさらなる持続的発展を目指す「8つのGXプロジェクト」と6つの重点取組 などについての講演がなされました。講演後、卒業



秋元札幌市長



講演会の様子

**法学部同窓会会員懇親会**

9月30日(土)18時30分～20時20分  
北大インフォメーションセンター  
「エルムの森」内「カフェdeごはん」  
参加者46名

講演会に引き続き会員懇親会が開催されました。3年ぶりの開催に46名の同窓会員が参加・過去最多の集いとなり、会場は会員同士の会話がだいに賑いました。講師を務められた秋元札幌市長の挨拶後、改めて佐々木同窓会長及び尾崎法学研究科長・法学部長から挨拶がなされ、懇談が始まりました。法学部1年の在学生会員から昭和32年卒の卒業生会員まで(年齢差70歳)侃々諤々のおしゃべりと飲食が約2時間にわたって続けられました。途中司会進行役の高橋副会長から来年度に札幌市職

員に採用が決定している在生が紹介されると会場は一気に歓声に包まれました。後半には秋元市長が在学生会員等の皆さんとの記念写真にに応じるなど交流の輪が一層広がりました。最後は、老若男女の参加者全員が肩組み・手繋ぎしての恒例の「都ぞ弥生」の蛮声放歌となるのですが、司会から「そのやり方では、来年から若い会員



挨拶される秋元札幌市長



懇親会の様子



秋元市長・佐々木同窓会長と在学生会員

の皆さんが参加しなくなるので止めて、普通の締め乾杯にしましす」とアナウンス(爆笑)とともに合意得られました。町田隆敏札幌市副市長・同窓会副会長からの締めの挨拶と乾杯で懇親会はお開きとなりました。「楽しかった。来年もここでまたやろう」との声が聞こえる中で、参加者会員の皆さんが帰路に就かれました。

**経済学部同窓会**

**2023年度総会・懇親会**

9月30日(土)16時～17時  
対面Zoomによるハイブリッド開催  
懇親会：17時30分～19時  
「義経」参加者20名

経済学部同窓会では、文系4部局合同シンポジウム終了後、人文・社会科学総合教育研究棟W102にて2023年度総会を開催しました。

今年度も昨年同様、対面とZoomによるハイブリッドで実施し参加者は20



同窓会総会の様子

ギスカンの義経」に移した。懇親会が行われ、同窓生同士久々のジンギスカン鍋を囲んで懇親を深め、同窓会への活発な意見交換も行われ大変有意義な会となりました。

人でした。

同窓会長代理平本健太理事の進行により会が進められ、昨年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画、規約の改正などが審議され、質疑応答の後承認されました。

その後場所を「ジン

**理学研究院・理学院・理学部**

**理学部ホームカミングデー**

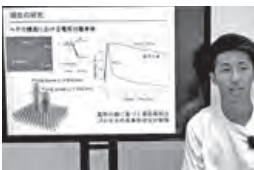
9月30日(土)13時30分～15時30分  
Zoomによるオンライン開催  
参加者38名

令和5年度の理学部ホームカミングデーが、9月30日にZoomによるオンライン形式で開催されました。

当日は、網塚浩理学部長と見延庄士理学部同窓会理事長からの挨拶を皮切りに、各学科から現在の活動やトピックス等に関する報告が行われました。

続いて、2023年に創立100周年を迎える理学部の記念企画「第3回理学部創立100周年カウントダウン講演会」を開催し、理学部化学科卒業生で総合化学院修士2年の高橋佑輔氏から、「研究と陸上競技を支えてくれた北大理学」と題し、講演がありました。

同氏は、2023年7月のバンコク2023アジア陸上競技選手権大会の日本代表選手に選ばれ、



講演する高橋氏

銀メダルを獲得した現役大学院生です。なお、同氏は当日、世界ロードランニング選手権大会(ラトビア・リガ)男子1マイルに日本代表として出場しているため、9月20日に事前収録した動画を視聴してもらいました。学部時代の思い出、文武両道のために努力してきたことや現在の研究内容についての紹介がありました。さらに、これからの目標として、パリオリンピック出場への意気込みも語ってもらいました。

現役教職員や学生のほか、卒業生ら38名が参加し、熱心に聞き入っていました。

**医学研究院・医学院・医学部**

**医学部ホームカミングデー  
フラテ祭2023**

9月30日(土)13時～16時40分  
医学部学友会館フラテホール  
参加者40名

医学部では、同窓生をはじめとする関係者の皆様との親睦をさらに深める目的で「フラテ祭」を開催しており、16回目の今年度は9月30日(土)に医学部学友会館「フラテ」ホールにて開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、4年ぶりの集客開催となりました。



網塚学部長挨拶



参加者による記念撮影



遠藤氏による特別講演



荒瀬氏による特別講演

表が素晴らしかった」「素晴らしい方の講演を聞くことができ、貴重な時間だった」「時勢にあった話題で興味深く拝聴した」など、多くの感想が寄せられました。

**保健科学研究所**

**大学院保健科学研究所  
ホームカミングデー2023**

9月30日(土) 13時30分～16時  
対面Zoomによるハイブリッド開催  
参加者28名

医学部公認団体アンサンブル・フラテによる演奏から始まり、本間明宏フラテ祭実行委員長並びに浅香正博医学部同窓会長からの挨拶に続き、畠山鎮次医学部長、南須原康行北海道大学病院副院長による講演が行われた後、現役医学部生(全学ラグビー部、医学部軽音楽部)による活動発表が行われ、医学部の現状を発信しました。続いて、国内外でご活躍されている同窓生による特別講演が行われました。Foundation Cardiology / Southern New Hampshire Medical Center の遠藤由香先生(医学部第65期)から「日米の医療を経験して」と題した講演が行われ、大阪大学微生物病研究所免疫化学分野の荒瀬尚教授(医学部第66期)から「新たな発見を求めて」と題した講演が行われました。最後に、音羽博次奨学金授与式が行われ、盛会のうちに終了しました。

参加者からは「大学の情報を得られてありがたかった」「学生発

今年度は会場での実施のほか、ZoomによるWebでの実施のハイブリッド開催を行い、総勢28名の方々にご参加頂きました。矢野理香研究院長からの挨拶に始まり、研究院の各分野の紹介、卒業生等による講演会、医学部保健学科・医療技術短期大学部同窓会総会が行われました。

講演会では、本家寿洋氏(北海道医療大学リハビリテーション科学部作業療法学科・教授)に、「生涯人生を楽しむための方法とは？」と題し、生涯の研究テーマとなった「余暇活動の楽しさ」に関するお話について、現在の主な研究である認知症の方に向けてのプログラム開発に至った経緯を、そのルーツとなった本学医学部保健学科の前身である医療技術短期大学の頃からの経験を含め講演いただきました。



横山教授による講演

成や骨の微細構造を研究する面白さについて、それぞれ本学着任時からの活動を振り返り、各教室の歴史や長年取り組んできた研究内容等について講演がありました。各講演者は、これまでの苦勞や、直面した困難をどのように乗り越えたか自身の体験談を交えて講演し、参加者にとって、北海道大学歯学部が歩んだ道のりにおいて、当時の工夫や知恵が今でも形や方法を変えて通用することを再認識し、今後、教育・研究・臨床を行っていく上で大いに参考になる内容であり、講演者の話に熱心に聞き入っていました。

**薬学部・薬学研究院**

**第24回生涯教育特別講座秋季講演会**

9月30日(土) 14時～16時  
薬学部臨床薬学講義室  
参加者89名

薬学部生涯教育特別講座は、北大薬学部同窓生を含む医療関係及び関連領域の仕事に従事される方を対象に、医療における諸問題について最新の情報を提供することを目的として実施されています。



会場の様子

9月30日(土)、薬学部臨床薬学講義室において秋季講演会が開催され、薬局や病院などの薬剤師の方々ははじめ、薬学部学生や同窓



講師の原田先生



講師の朝比奈先生

生、教員等89名が参加しました。初めに北海道大学病院消化器内科助教の原田一顕先生による「最新ガイドラインからみる消化管がん化学療法」の講演があり、免疫チェックポイント阻害剤による治療や免疫関連有害事象について、具体的なデータに触れながら大変分かりやすく解説いただきました。続いて国立病院機構北海道がん

続いて、林泰弘氏(日本医療大学保健医療学部臨床検査学科・講師)に、「複数検査分野のハザマで苦悩する中年男性技師」と題し、臨床検査技師としての勤務した大学病院での複数検査領域の経験、また現在の大学職員としての経験を話したからこそ感じるやりがいや楽しさと、同時に生じた苦悩や葛藤、これからの自身の展望等について講演いただきました。昨年度に引き続き対面・Zoomによるハイブリッド開催でしたが、盛況の内に終えることができました。



林氏による講演

本家氏による講演

矢野研究院長の挨拶

センター呼吸器内科医長の朝比奈肇先生に「最新の肺がん薬物療法」というタイトルで、肺がんにおける薬物療法について、実臨床から研究まで、最新の報告を交えながらご講演いただきました。講演後には、聴講者から様々な質問が寄せられましたが、先生方は一つ一つに丁寧に回答くださいました。「免疫関連有害事象の管理の重要性を知りました」「複雑化する化学療法についてまとまっておりとても分かりやすかったです」「免疫チェックポイント阻害剤治療の有用性を具体的な数値で知ることができ、非常に勉強になりました」など多くの意見が寄せられました。

**工学研究院・工学院・工学部**

**同窓生向け講演会  
及び資源工学研究棟ツアー**

9月30日(土)  
講演会：14時30分～15時30分  
工学部オーブンホール 参加者55名  
研究棟ツアー：15時30分～16時30分  
資源工学研究棟 参加者55名

工学部オーブンホールにおいて、工学部の同窓生を対象にした講演会を行いました。幅崎浩樹工学研究院長・工学部長が歓迎の挨拶を述べた後、恒川昌美名誉教授から「黄金の国ジパングを夢からデザインするステイジへー資源とSDGs」と題

**歯学研究院・歯学院・歯学部**

**オンライン特別講演**

「温故知新〜歯学部が歩んできた道〜」  
9月30日(土) 15時～18時  
オンライン 参加者55名

歯学研究院・歯学院・歯学部では、「温故知新〜歯学部が歩んできた道〜」と題し、教育・研究・臨床で活躍してきた5名の教員に、これまでの歯学部が歩んできた道について講演いただき、故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る講演会(オンライン)を企画しました。

初めに網塚憲生研究院長・学院長・学部長が歓迎の挨拶を述べた後、歯学研究院等の現況報告が行われました。

引き続き、横山敦郎教授から、教室の歴史や歯科補綴学に関する教育・実習の移り変わりについて、田村正人特任教授から、ゼブラフィッシュを用いたこれまでの研究内容や今後の研究の方向性について講演が行われ、参加者からは大変好評でした。



網塚研究院長による挨拶



北川教授による講演



幅崎研究院長



恒川名誉教授の講演

講演後は、令和5年9月に完成した「資源工学研究棟」のお披露目ツアーが行われ、盛況の内に終了しました。

また、工学部正面玄関において、北工会(工学部の教職員・学生等の親睦団体)の公認サークルによる作品(書道及び写真)の展示が行われ、講演会及び資源工学研究棟ツアーの参加者も足を止めて作品に見入っていました。

**情報科学研究院・情報科学院**

**北楡会・北海道大学情報系交流会**

9月29日(金) 13時30分～17時30分  
対面とオンラインによるハイブリッド開催  
参加者55名

情報科学院の前身となる情報科学研究科並びに電気・電子・情報・生体工学系の各専攻・学科の同窓生で組織される北楡会と、情報科学院の学生・教員との交流会を、本年度もオンラインと対面のハイブリッド形式で実施しました。プログラムは文末のとおりです。長谷山美紀学院長並びに伊藤明男北

冒頭、都木靖彰学部長による学部近況、特にキングサーモンとマコンプの完全養殖の実現と、これらを通じた地域で活躍する人材の養成を目指すCREEN人材育成事業等が紹介されました。またフロンティア基金への寄附のお願いが述べられました。

次に、「海洋調査の現場と『北水魂』」をテーマに、みらいまでと題してご講演いただきました。講演内容は、学生時代は応援団、水産学部と海技士免許状を取得する特設専攻科に進学して現在の仕事に出会い、卒業後航海士として調査船業務に従事、その後陸上で海務監督業務を経て、海洋研究開発機構や日本サバイバルトレーニングセンターへ出向、日本初の総合海上訓練施設の設立に奔走したことをご紹介いただきました。特に有人潜水調査船「しんかい

9月30日(土)  
講演会総会 14時～17時  
学術交流会館 参加者77名  
懇親会 18時～20時  
ANAラウンジザホテル札幌  
参加者112名

水産科学研究所・水産科学院・水産学部/北水同窓会  
ホームカミングデー2023  
水産学部卒業生・在校生のつどい

家族に現役学生約30名を含めて総勢120余名が近況を伝え合い旧



通常総会の様子



懇親会風景

交を温め、あるいは大鼓舞する議論を交わして慌ただしく時落としの日は暮れて名残のなか閉会、ホームカミングデーにふさわしい一日となりました。各地から出席してくれた同窓諸兄、会の準備を担ってくれた学生会諸君に改めて感謝いたします。



講演をする横田氏



横山同窓会会長の講話

団体の後援をいただき対面形式で開催しました。野口伸研究員による開会挨拶の後、「内村鑑三・新渡戸稲造・宮部金吾・青春の志と生涯」と題して元北星学園理事長・元東京女子園短期大学学長の大山綱夫氏にご講演いただきました。内村、新渡戸及び宮部の3人の札幌農学校で過ごした当時の様子や思想が紹介され、その後の生涯についても解説されました。



集合写真

講演者それぞれの、紆余曲折しながらも現在の職業に至った背景や経緯がとても興味深く、大学院での研究内容とは違うように見える職業でも、実はその経験は役立つっており、学生には現時点ではゴールは見えていなくても前に進むと新しい視野が得られる、との講演をしていただき、学生等参加者にとつては非常に有意義なものとなりました。

6500」を安全に運航する上で難しさなど、現場ならではの大変勉強になる講演でした。「北水同窓会定期総会」では、8月1日(火)に北大栄賞賞を受賞された横山清氏(北水同窓会会長、株式会社アークス代表取締役社長)に花束と記念品の贈呈が行われました。会長にはこれまでの

環境科学院のホームカミングデーでは、本学院修了生より現在の仕事内容についてご紹介いただくとともに、学生時代の経験や就職活動をふまえて、在学生へのアドバイスなどを講演していただいております。

修了生による講演会

9月29日(金)15時～17時  
Zoomによるオンライン開催  
参加者45名



集合写真

とで、今年度も多くの講演者から「オンライン開催だったからこそ講演に際することができた」との好評を得ております。今回も日本各地、またアメリカからも講演していただきました。

本講演会は、明治31年発足の札幌農林学会が開催してきた学術講演会の中の特別講演会を継承・発展させてきたものであり122年の歴史を持ちます。平成9年以来、市民公開・農学特別講演会として、広く一般市民の方々に公開しており、本年は「新渡戸稲造記念講演会」と題し、農学研究所・農学院・農学部及び一般社団法人

市民公開「新渡戸稲造記念講演会」

9月30日(土)13時～15時  
農学部大講堂 参加者116名

農学研究所・札幌農学同窓会

講演会会長からの挨拶に続き、長谷山学院長及び北海道旅客鉄道株式会社執行役員総合企画本部副本部長 山田浩司様よりご講演を頂きました。続けて、学生によるポスター発表発表会を行いました。ポスター発表の件数は21件です。意見交換会では、伊藤会長



伊藤北榎会会長



長谷山学院長の講演



ポスター展示の様子

をはじめとする同窓生の皆様からポスター発表を行った学生への激励のお言葉を頂きました。【プログラム】  
・開会挨拶  
情報科学院長 長谷山美紀  
北榎会会長 伊藤明男氏  
・講演  
「令和5年度大学・高専機能強化支援事業と本学情報科学研究所」(情報科学院長 長谷山美紀)  
「北海道新幹線札幌延伸を契機とした交通施策・まちづくりについて」(山田浩司氏)  
・研究発表会(学生によるシヨトプレゼンテーションとポスター発表)  
・意見交換会



野口研究員によるご挨拶



講演会の様子①



講演会の様子②

札幌農学同窓会による主催、北方生物圏ワールド科学センター及び一般社団法人新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会による共催、サステイナビリティ推進機構による協力、北海道、札幌市等51

講演会は同窓生以外にも一般市民を含め110名以上の方にご参加いただき、会場がほぼ満席となりました。フロアから質問が出る等、大変盛会となりました。

また、講演後に座談会方式で、大山氏と昨年開催した「新渡戸稲造生誕160周年特別記念講演会」講師の一般財団法人新渡戸基金理事長藤井茂氏から内村、新渡戸、宮部の若き日の想いについてさらに解説されました。

獣医学部

獣医学部同窓会総会・懇親会

9月30日(土)13時～17時  
獣医学研究所講堂・講義棟南側ロウン  
参加者124名

獣医学部同窓会の令和5年度評議員会・通常総会を講堂で開催、総会は40名の出席を得て発言が相次ぎ、名簿や会費納入の管理システムへの導入などを承認しました。10年ほど続けた、多様な分野で活躍する同窓諸兄を招いてのフォーラムに替え、今回は久々に獣医学部ロウンにて懇親会(ジンパ)を挙行しました。最長老・橋本信夫名誉教授(昭30卒)の発声で乾杯、滝口満喜会長(昭62卒)の挨拶に続き、円山動物園園長・柴田知加子氏(昭62卒)と柳川洋二郎准教授(平21博修)が昨今話題のアジア象誕生の背景や関連学術研究を紹介するかわら、各自冷えたビールと、ジンパというより、グユウパで、かなり美味しい肉に賑わいました。前出吉光名誉教授(昭42卒)は今夏手稲山にて熊に遭遇した体験から野生動物・環境との共生に本質的対策を講じる重要性を力説され、次いで坪田敏男教授(昭58卒)も野生動物の専門家の立場から獣医師の役割と責任を強調されました。全国各地、道内各所から駆けつけてくれた会員やご

国際広報メディア・観光学院

ホームcomingデー@IMCTS  
修了生 meet 在学生 2023

9月30日(土) 14時～18時35分  
国際広報メディア・観光学院  
参加者31名

国際広報メディア・観光学院では、「修了生、活躍中！」というテーマで、修了生3名による講演会を対面で開催しました。奥聡学院長による開会の挨拶の後、国際広報メディア2期生の中村智美氏(北海道警察)の「北海道警察の魅力について」と題した講演が行われ、多岐にわたる警察の業務を自身の経験に基づくエピソードを交えてお話いただきました。参加者は、普段聞くことができない興味深いお話に皆熱心に耳を傾けていました。



中村氏による講演



チョウ氏による講演



平井氏による講演

続いて、国際広報メディア11期生のチョウ テンテン氏(KDDI総合研究所 事業環境リサーチグループ コアリサーチャー)の

「チャレンジで広がる可能性…キャリアパスの多様性を考えよう」と題した講演では、研究スキルやチャレンジし続けることの重要性について経験を基に在學生にアドバイスをされていたのが印象的でした。

最後に、観光創造7期生の平井健文氏(北海道教育大学函館校講師)の「学術的なつながりを作る…観光創造専攻の頃を振り返って」と題した講演では、様々な場所で行う姿勢に聴衆は大いに刺激を受けた様子でした。

講演後、活発な質疑応答が行われ、盛況のうちに終了しました。学院で学んだことを活かした様々な分野での修了生の活躍を知る貴重な機会となりました。その後、同窓会総会に続いて懇親会が1時間ほど開催され、OB教員や修了生を囲み、和やかな雰囲気の中で歓談し、再会を期して閉会しました。

北方生物圏フィールド科学センター

植物園の縦覧見学、  
「北大農場」ミニツアー

植物園の縦覧見学  
9月30日(土) 9時～16時30分  
植物園 参加者21名



植物園で記帳する同窓生

植物園においては、ホームcomingデー特設窓口を設置し、卒業生等を出迎えました。幅広い年代にわたる21名の卒業生等が道内外から来園し、庭園、温室・博物館・宮部金吾記念館などを懐かしそうに見学されました。

「北大農場」ミニツアー  
①14時30分～15時 ②15時30分～16時  
生物生産研究農場 参加者12名

生物生産研究農場の「北大農場」ミニツアーは、14時30分開始と15時30分開始の2回実施し、同窓生の方々、合計12名の参加がありました。天候は曇りでしたが、例年同様、北方生物圏フィールド科学センター管理棟の屋上にご案内し、農場全体の眺望を楽しみながら、生物生産研究農場の活動内容を紹介しました。今年も、農場内に設置されたスマート農業教育研究センターの説明も行いました。同窓生の皆様から学生時代

「実習を受けた」や「研究に行き詰った時にふらっと来ていた」等コメントがありました。2回のツアーとも和気あいあいとした雰囲気で開催できました。同窓生の皆様ありがとうございました。

アドミッションセンター・北大キャンパスビジットプロジェクト(校友会エルム共催)  
「現役北大生と巡る札幌キャンパス」  
9月30日(土) 13時30分～15時  
札幌キャンパス 参加者37名

全学行事の会場となった学術交流会館を出発後、オープンイノベーションハブ「エンレイソウ」の内部見学を含む札幌キャンパス構内のコースを順次巡るキャンパスツアーを実施し、道内、道外の37名の方に参加していただきました。

ツアーでは、スタッフである現役の学生がコース内の学部や施設の現在の様子などを案内しました。また、構内の建築物の歴史や、最近できた施設についても詳しく紹介し、本学の歴史だけではなく、近年の学内の変化がわかる内容となりました。

参加者からは、当時の構内や学生生活の様子について伺いました。現在の様子について参加者からの質問に答えながら、学生自身も数十年前の本学の姿や歴史について参加



オープンイノベーションハブ「エンレイソウ」の内部



戦前の建築物である、農学部本館

生懸命準備してくださったのが伝わりました」という声のほか、「もう少し普段は入れない場所に入れると尚よいと思いましたが」など、今後のツアーに対する期待の声も聞かれました。

北大キャンパスビジットプロジェクトでは、例年、年に数回、一般市民や受験生向けのキャンパスツアーを行っておりますので、今回ご参加いただいた方々からお伺いしたお話を参考にし、より良い企画を実施してまいります。

者から学ぶことができ、共に新たな本学の一面を知る貴重な機会となりました。

ツアー参加者の方々からは、「新しくできた施設を見ることができて嬉しかったです」「学生さんが一

産物を使用した限定メニューの提供を行いました。限定メニューでは、北方生物圏フィールド科学センター静内研究牧場の北大短角牛、七飯淡水実験所の北大トラウト、生物生産研究農場の北大牛乳、卵や野菜等を使用した料理の提供を行いました。

産学・地域協働推進機構

北大ブランド商品紹介―北大の研究成果を活かした商品の紹介

9月29日(金)～10月1日(日)  
8時30分～20時30分  
参加者:北大関係者、一般市民等

産学・地域協働推進機構は北大ブランド認定商品の紹介を行いました。インフォメーションセンターエールの森にて、認定商品を取り扱っている店舗と商品をマップにしたポスターの展示、及び学内飲食店と協力し、普段は一般流通しない北海道大学の農



北大短角牛ステーキセット



北大マインド食弁当

※マインド食は、「地中海食」と高血圧の予防を目的とした「DASH食」を掛け合わせた食事法のことです。加齢による認知機能低下を遅らせる食事パターンとして注目されています。

MIND: Mediterranean-DASH Intervention for Neurodegenerative Delay

また、北海道大学病院栄養管理部とインフォメーションセンターエールの森内のカフェdeごはんとコラボレーションによる「北大マインド食弁当」(※)を販売しました。ご来場いただいた卒業生・観光客及び地元の皆様には、実際に農場生産物を食べ、北大ブランド商品を手に取って頂くことを通じて、北海道大学の研究を知っていただきました。

ほっかいどう同窓会(校友会エルム共催)ランチパーティ  
9月30日(土) 12時～14時  
百年記念会館大会議室 参加者:49名



資金清博総長

関西同窓会・松下様の挨拶



懇談の様子

COVID-19のため長らく開催されなかつた対面でのホームcomingデーがようやく再開され、校友会エルム共催の下、9月30日(土)百年記念会館にて「ほっかいどう同窓会ランチパーティ」を開催しました。会員の皆さんと一堂に会して旧交を温めることができました。参加者は同窓生や元教職員や現任教職員、現役の学生を含め49名となりました。まだコロナウイルス感染の危険性が払拭されて

天気予報が良くなかつたため今回は当日のキャンセルが少なからずあり、食事も余ってしまう残念な結果でした。来年は感染の心配も薄れ、再び多くの会員の皆さんが集うランチパーティとなることを願っております。



一般社団法人 恵迪寮同窓会

文化講演・大寮歌祭 in 札幌

9月30日(土) 14時～18時  
クラーク会館大会室2 参加者71名

一般社団法人恵迪寮同窓会は北大ホームカミングデーに2013年より参加し、北大・恵迪寮の精神と寮歌の継承を目的に「文化講演と寮歌の集い」を行っています。

まず、同窓会副理事長藤田正一(元副学長)からの開会挨拶では、ご講演をいただく山口淳二理事・副学長のご紹介に続き同窓会及び現恵迪寮への日頃のご指導・支援について謝辞を述べました。

「文化講演」では、山口理事・副学長により「北大の現在位置について」と私の研究を少し「緑の革命をめぐる話題」と題しご講演をいただきました。天与の価値を持つ北大のブランディング、フロンティア精神など4つの基本理念の継承、同窓会との連携に向けてなど大学運営にかかわる課題・方向は恵迪寮同窓会の関心事でもあり大きなご示唆をいただきました。講演を終え参加者の



大寮歌祭 in 札幌

山口理事・副学長による講演

同窓会会員や現恵迪寮生からの、自治とブランディング、半導体の展開方向などの質問にもご丁寧にお答えいただきました。感謝申し上げます。

引き続き、道外からの同窓生など多彩な参加者を得て、「大寮歌祭 in 札幌」を行いました。今年は久しぶりに飲食を伴う形で声を張り上げて寮歌を歌う会となりました。

第一部は「手稲山を歌った寮歌」の特集、第二部は小樽商大学の友情出演や現役寮生による最新寮歌の披露など、第三部は良く歌われる寮歌の大合唱でした。最後は皆で肩を組んで「都ぞ弥生」を

声高らかに歌い、締めとして「ストームの歌」を乱舞(?)しました。歌った寮歌は、明治40年「一帯ゆるき」から令和4年「星よ色褪せよ」まで、全部で18曲です。中でも、昭和16年「湖に星の散るなり」の作曲者の娘さんが大阪からこの日のために来道参加されており、作者に敬意を表しつつしみじみと歌ったことは今年の収穫でした。

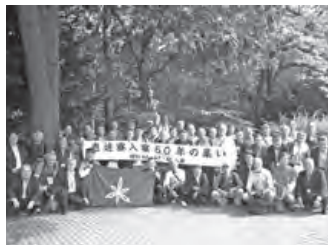
昭和46・47・48年恵迪寮入寮50周年同期会

10月1日(日) 13時～20時  
北大構内、ホテルマイステイズ札幌アспен 参加者69名

昭和46・47・48年に恵迪寮へ入寮した50周年同期会が令和5年10月1日(日)に札幌で開催されました。コロナ禍による昨年開催予定からの延期を経て、元寮生68名とご同伴者1名が参集しました。

行事は、13時からクラーク像から現恵迪寮まで北大構内を散策し、16時半からホテルマイステイズ札幌アспенで同期会を開催しました。

北大構内散策では、クラーク像前に集合。50年ぶりに会う面々もおり、名札と顔を見合わせての邂逅です。現役北大応援団の大鼓の歓迎により恵迪寮へ向かって寮歌を高吟しながらの行進・逍遙です。途中、北大総合博物館では北大精神を振り返り、寝食とともに



クラーク像前集合記念写真



寮歌を高吟し北大構内を逍遙

した2代目恵迪寮の跡地(現準硬式野球部球場)では当時の寮玄関位置の特定など思い出と照らし合わせていました。現恵迪寮では、ホールや図書室への訪問や寮長からは恵迪寮の現状の説明をしていただきました。

ホテルでの同期会では、ご逝去された寮生を悼み黙祷をささげた後、世話人会による挨拶につき乾杯、ビデオ上映、全員1分間スピーチ、寮歌高唱と続きました。ビデオ上映では部屋アルバムに懐かしみ、無声8ミリ動画では往時の寮での生活実態に驚嘆、1分間スピーチでは寮生活無しに今の人生無しとの多くの声がありました。

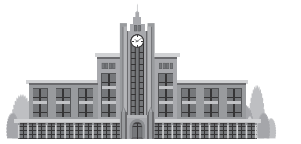
「都ぞ弥生」を声高らかに5番まで肩組み歌い、閉会の挨拶、3年後の北大創基150年に次回同期会の開催提案もありました。その直後、どこからともなく「醒めよ迷いの夢さめよ・・・」と「ストームの歌」を乱舞しお開きとなりました。

掲載していない部局の様子は北大時報11月号をご覧ください。

PDF版はこちらから→



アルミのことなら日軽金



# 夢を現実にし！

## 人との出会いが すべての出発点

工学部土木工学科の出身にも関わらず、一級建築士として建築設計事務所を営んできた私のユニークな経歴に興味を持っていただき、このコーナーに登壇した次第です。70年安保の激しい時代に翻弄され、その流れにあらがいがいながら、なんとか生き延びてきた人生でもあります。

大学では北大美術部黒百合会に所属し、卒業後は東京黒百合会の一員として油絵の制作を今日でも続けています。絵の世界で生きるのは大変厳しいと思い、建築設計の世界で生きる道を見つけてきました。

### ● 波乱万丈の北大時代

そもそも私は国定忠治で有名な上州・群馬の片田舎で育ちました。中学・高校ではバンカラと骨太に憧れ、柔道部で体を鍛えました。男子の粋を集めたる前橋高等学校を卒業するまでは順風満帆でしたが、赤城嵐に送られて郷里を出たものの、その後は厳しい現実が待っていました。当時、全国的に学生運動が激し

く吹き荒れ、一浪した昭和44年(1969年)には東大入試が中止になるなど大学受験が大混乱、何とか北海道大学にたどりつきました。入学と同時に北大も学生運動によって一年間封鎖され、授業もないので夜間の美術学校で油絵を習い、大学では黒百合会(美術部)に入部しました。大学が再開しても演劇などの芸術や学生運動に熱中していたため留年してしまい、おまけに学校に行っていなかつ

たために、建築科の選考日も気がついたら運悪く一日違いで、すでに終了していました。こうして目指していた建築科ではなく、1人空きがあった土木工学科に進級しました。私の遠回り人生の始まりでもあります。

何度も大学をやめ、建築学科を受け直そうかと思いましたが、父親の会社が倒産して大変だったのでも一刻も早く大学を卒業しなければと思い、踏み止まりました。幸いなことに建築学科の先生方の計らいで、土木科に在籍しながら建築科の授業を聴講させていたことができ、また、通信教育でも建築の勉強に励みました。

土木と建築の先生方からは大変親切にしていたので、2つの学科でそれぞれ仲間ができて、今でも皆と仲良くさせていただいております。

私の年代は団塊の世代なので、学生数も多く競争も激しかったので仲間意識が希薄かもしれません。



学生時代の黒百合会展(本人:中段右端)

就職先は、自分で見つけてアプローチしていた建築事務所に入ることができました。最初の1年間は早稲田大学の夜学に通いながらの勤務でしたが、その事務所には7年間お世話になりました。本来ならそんな建築学科に進み、建築の王道を歩むはずでした。しかし夢はまぼろしの如く消え去り、王道からはどんどん外れた挫折の連続でしたが、自力で何んとか這い上がったと思います。

建築界の第1人者であ



絵画「北の大地」(北大工学部同窓会室へ寄贈)

杉並区の『座・高円寺』という劇場建築の公開コンペでは、90数社の中で最後の6社に残りました。最終審査で伊東豊雄さんに負けましたが、最後まで残った6社の作品は杉並区役所のロビーに展示されました。

町や飛騨高山などがありますが、それ以外にも各地の町並みを整備し、世界に誇れる日本の伝統文化を支えてきたわが国を代表する建築事務所です。仕事を通して生き方まで厳しく鍛えられました。

その後独立し、設立した当初は北大建築科を卒業した菅井茂さんと共同で事務所を借りていましたが、お互いのスタッフが段々と増えるようになり、菅井さんは、JR九州の車両デザイナーとして、今では世界的に有名になった水戸岡鋭治氏のビルを設計して、彼の手伝いも多くなったためそのビルに移転しました。

私の作品は『新しい住まいの設計』『週刊新潮』『週刊ポスト』等の雑誌に昔はよく掲載されてきましたし、『現代日本の建築』には安藤忠雄、黒川紀章、隈研吾、妹島和世等の今をときめく有名建築家164人に私の名前もまぎれ込んでいました。

建物が必要としている人のためにコツコツと愚直に、世のため人のために尽くすのも建築家の重要な使命だと信じ、家族を顧みず赤貧に甘んじ、好きな道を究めたい一念で仕事に打ち込んできました。縁故地縁もなく「生き馬の目を抜く」といわれる東京のど真ん中の中央区日本橋で事務所を構えて40数年やってこれたのは、実に不思議な綱渡りのような人の縁に恵まれたからだだと、その縁に感謝する次第です。幾つかの思い出に残る出会い、それから生まれた建物のお話をしたいと思います。

### ● 運命的なさまざまな出会い

#### 〈飲み屋のお客さん〉

最初の仕事は本当にラッキーな出会いでした。連合設計社を辞める半年前に飲み屋で偶然に出会った見ず知らずの人との話です。私の隣に座って飲んでいただお客さん

と、たまたま建築の話で盛り上がり、独立してこれから建築の設計事務所を開設するのだと話すので、自分の新橋の本社が手狭になったので新しいビルを建設したので相談ののって欲しいという事になり、運よく8階建てのビルを設計させてもらう事になりました。この方には日立と勝田と沼津の営業所を始めとして、足立区の機械製作工場、実家の建替え、兄弟達の家、軽井沢の別荘やお友達の家など、本当に色々な建物を手掛けさせていただきました。

#### 〈昔の現場の所長さん〉

2つ目の話は、連合設計社で働いていた時、群馬県の伊勢崎女子高等学校の同窓会館の仕事が縁の始まりでした。その仕事では設計と現場監理を担当したのですが、

その時の群馬の建設会社の所長さんが私の独立のことを聞きつけ、東京までわざわざ尋ねてきました。東京の取引先に配送センターを作りたい会社があるので是非紹介したいとのことでした。トントンの拍子に話がまとまり、立体自動ラック倉庫を兼ね備えた大きな配送センターが出来上がりました。

その後には、千葉の習志野の住宅、新木場配送ターミナルセンター、そして最後は社長さんの夢だった本社の建て替えの仕事を任されました。この時は芸術作品のようなデザイン建物に造り上げて欲しいと言われ、とんでもない喜びを感じたものでした。

#### 〈東京黒百合会の先輩と遠藤周作先生〉

3つ目の話は、私の所属する絵画グループ「東京黒百合会」の先



細井 眞澄  
(株)真澄建築設計社  
(S49 工・土木工学科)

でも北大で過ごした5年間はとても充実して実りの多い、楽しい時間でした。

### ● 憧れの事務所に入社、独立

就職先は、自分で見つけてアプローチしていた建築事務所に入ることができました。最初の1年間は早稲田大学の夜学に通いながら



新橋ビル  
RC造 地下1F・地上8F



昭和紙商事  
本社ビル



昭和紙商事 千葉配送センター



輩からのお仕事です。この先輩は、歴史と由緒のある立派な会社の会長さんですが、若くして社長になってからずっと心の中に温めてきた夢が、劇場を造るというものでした。お金儲けではなく、社会に貢献したいという信念のもとに、役者や文化を育て少しでも日本文化や芸術の発展の役に立つ劇場にしたい、という熱い思いを伺いました。「細井君、劇場を一緒に造ってもらえるかね」といわれた時には天にも昇る気持ちで、今でもその時の高揚感を忘れる事が出来ません。

それというのも、大学の時に演劇の世界に足を踏み入れ、社会人になり始める頃、勤めていた連合設計社では作家の遠藤周作先生率いる劇団「樹座」の舞台装置の設計を任せられました。その大役を3年間担当させていただいたのは、学生時代に演劇に携わっていたからであり、それがこうして劇場設計の仕事につながったと感じたからです。学生時代の演劇活動は決して無駄飯だったわけではなく、20年経って大きく実が結んだことは感謝の気持ちと共に感慨深く思いました。

まず始めに『中野・ザ・ポケット』がスタートしました。それが大成し、『劇場MOMO』『テアトルBONBON』『劇場HOP』と

のボランティア活動にも携わってきました。『新渡戸記念中野総合病院』 劇場の支配人の紹介で、中野にある総合病院の建築顧問の話が舞い込みました。新渡戸稲造が設立したその病院に新渡戸の名前を入れ、『新渡戸記念中野総合病院』として新しい気持ちで病院を建て直して行きたい、その手助けをしてくれる建築家を探しているとの話でした。私の親戚・友達にはどういふ訳か医者が多く、これまでに数多くの病院や診療所の設計の経験がありましたので、この病院でも役に立ちたいと思いつきながら、初めて入江病院長にお会いしました。話をお伺いするほどに、入江病院長の病院に対する情熱たるやすごいものを感じ、自分にとっての集大成としてこの病院に全てを奉げても良いとの強い思いを抱きました。

』と一つずつ増えて4つの劇場を設計させていただきました。その4つの劇場が完成するまでに実に20年の歳月がかかりました。雑誌や新聞にも色々取り上げてもらい、人気も評判も良く、最近では小劇場ブームの火付け役として下北沢に負けないくらいの劇場エリアになっていきます。その場所は『ポケット・スクエア』と呼ばれ、それまで閑散としていたエリアは発展し、今や日々2千人ほどの人々がその界限を行き交うまでになりました。

町が活性化されて中野区にも大変感謝され、その方面では話題性のある劇場となっています。さらに



中野・ポケット・スクエア(4劇場)



ネット・トヨタ高崎(本社・店舗)



小川山荘(ログハウス)



シーザーハウス(ゲストハウス)

近接する高円寺にライブハウスやバレエスタジオ等も設計させていただきました。

『高校や北大の同級生・先輩』 30数年前、成田空港で偶然会ったのが縁で、群馬はじめ各地に大きな製粉工場を持つ高校の同級生から建物設計の依頼がありました。それは60歳の時、自分の理想とする日本一のうどん・蕎麦の販売所と食事処を作って欲しいとの依頼で、「久路保山荘」「葛葉茶寮」と名付けたお店として彼の夢のお手伝いできました。

別な同級生からは、「ネット・高トヨタ高崎」の本社、および「高」に実践し、疾病を抱えた人をまごころで支援する」とのスローガンの基にそれを実践しています。新渡戸の提唱が始まった「東京医療利用組合」の健康保険制度は、今日の健康保険制度の礎になっています。

お金ではなく、真心を込め医療に尽くす、そんな素晴らしいお医者様と久しぶりにお会いすることができて感激しましたし、そうした先生の下で働くスタッフも素晴らしい人たちばかりです。この病院には新渡戸稲造の精神が今でもしっかりと受け継がれていることが伝わってきました。病院長から「お金がない病院なので宜しくお願ひします」と言われた時には本

当に自分にふさわしい仕事にめぐり合えたと感じました。 『平成遠友夜学校』講演、映画「新渡戸の夢」 新渡戸記念中野総合病院の仕事のタイミングで、新渡戸稲造が作った「遠友夜学校」を受け継いで北大構内で行っている「平成遠友夜学校」の講演依頼の話が入ってきた時には、私にとつてはまさに運命的なものを感じました。講演依頼の話は、札幌のギヤラリーで家内との絵画展「いんてないかい二人展」を開催していた時で、平成遠友夜学校の講演をやったことがある、私の義兄(当時北大教授)がきっかけでした。講演では、義兄から言われたように私の今までの生き様をお話ししました。

また、新渡戸稲造について大変造詣が深い松沢幸一先輩



映画で紹介された絵画と撮影風景

(元キリンビール社長) から声を掛けていただき、目下、ドキュメント映画「新渡戸の夢」の製作サポートをしております。映画にも少し出演しておりますので一般上映されたら是非ご覧になってください。

●最後に

私は今日まで、先が全く見えな不安定な自営業を四十数年近く続けてやって来ました。今思えば若かったから勢いでやったのかもかもしれません。それは学生時代に北大で培ったフロンティアスピリッツの気持ちとピーアンビシヤスの精神だと思えます。何度も将来に対する不安を振り払い、また辛くなった時は広大な北海道の大地を思い浮かべながら、人と人の繋がりを大切に、何とか元気に夢と口マンを追いつつながら、徹しくとも楽しくやってこれたのも、一重に私を支えてくれた方々のお陰だと深く心より感謝しています。誠実に生きてさえ行けば必ず素晴らしい人たちに会える事ができ、自然と道も開けて行くものだと思えました。これからも新渡戸稲造の精神を誠実に実践しながら生きて行きたいと思えます。もし若い人たちはチャレンジ精神を持って、自分の納得の行く人生を切り開いて行って欲しいと思えます。



〈油絵1〉聖母教会のレンガの塔



〈油絵2〉運河の橋

## 風景との対話

# ベルギー「ブルージュ」と言う街

初谷長治（S45理・物理）

丁度10年前、2013年8月の夏休みを利用してオランダ、ベルギーをレンタカーで廻りました。初日はアムステルダム空港から街の中心地のホテルヘドドライブし、車を置いて早速街を散策しはじめました。アムステルダムは東京と同じく都市の雑然さが目立ちました。翌日はオランダの南西部ハーグを目指してドライブです。ところが駐車場の入口ゲートには

駐車券が必要で、うっかり前日駐車券を車中に置いたまま出てきてしまい立往生です。妻の不安げな顔を今でも思い出して笑ってしまいます。割と早く他の客が現れ、説明と一緒にゲートを潜らせてもらい、事無きをえました。旅行にはハブニングが付き物です。ベルギーのブルージュ市街は大西洋（北海）から24kmも離れた内陸に位置していますが、幾つもの

運河で繋がって運河経由で北海へ通行できました。ブルージュとはオランダ語の「橋」と言う言葉から来ています。ブルージュ市の起源は9世紀に遡ります。13、14世紀にはハンザ同盟の中核都市として毛織物の交易で隆盛を極めました。しかし15世紀に入ると肝心の運河が沈泥のために浅くなり、荷物の出入りが困難になってしまいました。こうしてブルージュは都

市としての機能も喪失し、やがて街は寂れ、中世の景観を彷彿とさせたまま現在に至っています。その後16世紀にはアントワープが、17世紀にはアムステルダムが中核的港町として発展を遂げ、北進しながらネーデルラント全体の隆盛のドライビングフォースとなったことには面白さを感じます。ブルージュ市の中心にはキリスト教の大きな教会があり、その一つが聖母教会（ノートルダム教会・〈油絵1〉）です。この絵はその聖母教会の塔を中心とした景色を描いたものです。ちなみに塔自体はレンガ造りで高さ122mもあり、レンガ造りの建物としては世界で2番目の高さを誇っています。また視点となった私の立った場所は聖母教会の鐘楼です。これも高さが83mもあり、ここからの眺めは360度見渡せて、そここそ感動的な中世の街と田園風景にしばし動けなかったほどです。これは是非絵にしなければと制作したのが〈油絵1〉です。〈油絵2〉は街中に張り巡らされた運河に掛かるレンガ造りの橋の一つです。何百年も経て古びてはいるものの、ガッシリと力強く踏ん張っている様はヨーロッパ人の気骨を象徴している様です。短い旅でしたが風景との対話を楽しむことが出来た良い旅でした。

## 新薬の扉を、 AIと 開く。

人間とは異なる発想で  
抗体配列パターンを導き出す  
「AI創薬」によって、  
前例のない薬の開発に  
取り組んでいます。

創造で、想像を超える。





# 海外プロジェクト40年 エンジニアリングの魅力

## 基礎工学を学んだ北大

生まれてから大学4年までの22年間を札幌で育ちました。実家は父と伯父が小さな鋳物工場を営んでおりました。小学校の頃は勉強嫌いでしたが、中学／高校と上がるに従い学ぶことの楽しさを感じるようになり、天文学に魅力を感じて北大や京都大へ進むことを考えたこともありましたが、できるだけ親に負担をかけないように、また広々としたキャンパスに憧れも感じていたもので、自宅から通える北大理類への受験を決め、国立一学期とやわわっていた最後の年に入学しました。



テニス部の仲間たち(真ん中の白い服が本人)

大学に入ったら何らかのスポーツクラブに入ろうと思っていました。ラグビーをやってみたくてラグウンドで練習を見学したのですが、激しいぶつかり合い

を目的にしたりして、到底自分の身体が持たないと断念、考慮の末硬式テニス部に入学して、4年間打ちこみました。



東洋エンジニアリング株式会社  
代表取締役社長  
細井 栄治 さん  
(S57工・土木工学科)

当時、北大理類の学生は、教養部から理系のどの学部へも移行することができ、成績上位者の移行先は農学部が多かったと記憶していますが、私は迷わず土木工学科に進みました。実家の工場で上下水道施設などに使われる鋳物配管製品を作っていたので土木を身近に感じていたのと、トンネルや大きな橋梁を造ることに仕事のロマンを感じていたからです。

## 聞いたこともない TOYOに入社

土木工学科卒業後の進路は、半数の学生が上級国家公務員として建設省(現国土交通省)や通商産業省(現経済産業省)などの中央省庁、道庁・県庁などの官公庁に入り、4分の1の学生はゼネコン、残り4分の1が電力会社や国鉄(現JR)、エンジニアリング、コンサル企業でした。現代の就活システムとは異なり、民間企業への教授の推薦状があればほぼ無条件で入社することができた時代でした。

## 海外プロジェクトで 様々な経験を積む

入社後は土建本部の配属となり、千葉の製油所プラントの土建工事監督として現場を半年経験、その後サウジアラビアとタイにそ

れぞれ2年ほど赴任し、フィールドエンジニアとしてさまざまな現場作業に携わりました。北海道しか知らない私にとって本州の気候さえ暑く感じましたが、日中50度にもなるサウジアラビアの環境はとてつもないものでした。若く体力に自信があったので、調子に乗って炎天下テニスに夢中になり救急車で運ばれたこともありました。また、タイ(バンコク)の製油所の既設改造プロジェクトは稼働しているプラント設備の停止期間をできるだけ短くすることが求められ、労働時間が長く体力的には堪えませんでした。

C(設計(Engineering)、調達(Procurement)、建設・試運転(Construction & Commissioning))全体に関わりました。プロジェクトの流れは、プロジェクト成約後、国内或いはTOYOの拠点でプラント全体の設計や、機械・設備・人(労働力)の調達を済ませてから、プロジェクトチームが現地に入ります。土木・機械据付・配管、電気、計装などの工事会社と連携して建物や設備を完成させ、試運転後に発注者に引き渡して一連の仕事が完了します。プラント建設中は現地の宿舎で生活します。入社した頃は半年ごとの一時帰国でしたが、今は2-3か月ごとに帰国休暇がとれます。

プロジェクトマネージャー(PM)が率いるプロジェクトチームは、プロジェクトエンジニアリング・グマネージャー(PEM)、プロジェクトコントローラー・マネージャー(PCM)、プロジェクトエンジニア(PE)などで構成され、「設計」「調達」「建設」のそれぞれのパートを担当する各本部と連携し、契約した仕様通りにプラントを建設し、契約納期までに発注者に引き渡すまでがミッションです。

30代ではインドネシアで1千億円を超える大きなプロジェクトを2つ経験しました。最初のプロジェクトはインドネシア初となるエチレンプラント建設で、私はプロジェクトエンジニアやフィールドエンジニアを担当しました。ちなみに、エチレンは石油化学の基礎材料で、石油化学の米と知られています。2つ目のプロジェクトは、TOYOとして初めての大型石炭火力発電所の建設でした。発電所は、パワーブロックと呼ばれるボイラーやタービンの設備のほか、発電機、電気集塵機、石炭ハンドリング装置、用役設備などで構成されます。このプラントにおいては、当初プロジェクトエンジニアとして、その後エリアコンストラクションマネージャーとして仕事をしました。

## インドで最大のピンチ ついに係争に発展

40歳になってからは、プロジェクトの総責任者(PM)として、インド子会社で2年間の駐在とベネズエラの製油所改造プロジェクトなどに携わり、後半はインドの大型エチレンプラントのプロジェクトを任せられました。

【エチレンプラント(インド)】



①プロジェクトメンバー



②建設現場

30代の若い時にこうした2つの

この大型エチレンプラントの仕事は、発注者(石油会社)とコンサル会社ともに国営企業で、プロジェクト遂行においてたまたま可能或いは工期遅れになることも契約書からの逸脱は一切認められず、プロジェクト遂行の様々な事で衝突は日常茶飯事。その非合理性を証明するための詳細かつ膨大な説明書類を何度も提出させられ、激しい交渉を繰り返しました。PMとして体力/知力/気力を最大限発揮した仕事だったと思います。プロジェクトは完成したのですが同じプラント内で客が発注した他社のプラントの遅れにより全体のスタートアップが遅れ、最終支払いを巡って仲裁に発展しました。



子会社社長、  
そしてTOYO社長へ

TOYOは1970年代よりインドネシアで仕事をしてきたので

昨今の案件の大型化に伴い、規模が5000億〜1兆円規模のプロジェクトともなればそれらの会社と協業する事もあります。かつて私がインドでPMをしたプロジェクトではラーセン&トウプロと組みました。グローバルな会社はそれぞれ強みや特色があります。TOYOは肥料/エチレンプラント、JGC・千代田化工建設・ベクトル(米)はLNGプラントの実績が多く、韓国の会社は工事に強いといった特色を持っています。TOYOのもう一つの特徴はインドネシア、インド、中国、韓国、マレーシア、ブラジルなどに海外

【IKPT社(インドネシア)】



①会社に作った保育所



②会社で参加したWalkイベント

仲裁への万全の準備をした甲斐もあり、プロジェクトの遅れに対する客からの契約金額の減額は不当であるというTOYOの言い分は認められ、約10年かかった仲裁でしたが勝訴することができました。プラント建設は契約金額が大きく、そのプロジェクト遂行も複雑なことから、最近では第3者を入れて係争事項を解決する事も増えてきているように思います。客先が国営/官庁系企業の場合、コンプライアンスの観点からもそういったケースがみられるようになってきました。

まず、最初にPMI (Post Merger Integration - 買収後の統合プロセス) の一環として、経営管理システムを移管し、TOYOの Global Standard を導入、更に様々な実力強化/競争力強化といった施策を矢継ぎ早に実施しました。日本政府肝いりのインフラ輸出プロジェクトのジャカルタ高速鉄道 MRT

(Mass Rapid Transit) 地熱発電所、石油化学プラントの能力増強プロジェクト、肥料プロジェクト等数々の案件を受注し、それら案件を成功裏に終わらせる事ができました。IKPT社は現在TOYO 重要な拠点となっています。

2018年、前社長(現会長)のTOYO社長就任に伴い日本へ呼び戻され、プラント事業本部長として、現業部門のトップに就任。その後、前社長からの指名を受け2023年にTOYOの社長に就任し現在に至っています。

変わりゆく業界と仕事

我々がやっていることは、砂漠やジャングルといった何にもない



国内外の主要なエンジニアリング会社  
 化工建設の3社があり、また海外の主要企業としては、韓国の三星エンジヤ大林、現代建設、米国のベクトルやフルア、オーストラリアのウォーリー、インドのラーセン&トウプロ、英国のウッド、フランスのテクニップなどがあります。これらの企業とはしのぎを削る受注競争がある一方で、

拠点をもち、それらがToyoJapanとの協業だけでなく、独自で営業活動を行い、プロジェクトを実行していることです。

世界は今カーボンニュートラル社会の実現に向け動き出しています。世界中の政府/団体、エネルギー会社、化学会社、商社等がカーボンニュートラルに関連した様々なプロジェクトを検討しており、今後多くのプロジェクトが始動してゆきます。それを支えるのが我々エンジニアリング会社の使命と責任と考えています。昨今の世界的な機材費、工事費などの値上がりに対し我々の知識、技術力を持つて、プロジェクト実現に力を発揮したいと考えています。一方、大規模プロジェクトは様々なリスクを抱えており、我々はリスクをデジタル化したり、仕事の進捗を可視化したりするなど、DXの面からもその対応に取り組んでいます。

大学の講演で  
感じたこと

昨年10月に学生時代の同期で土木工学科の教授をしている友人からの依頼で、学生向け

に講演をする機会がありました。後日、学生全員の感想レポートを読ませてもらい、海外で仕事をすることを考えている学生があまりいないということにとても驚きました。また、講演の中でカーボンニュートラルに関する話をしたのですが、授業ではあまり教わっていないらしく、その点にも大きなギャップを感じました。

大学で学んだ基礎工学は仕事に大変役に立ちます。一方、現代においてはカーボンニュートラルや温室効果ガスといったことはこれから社会に出てゆく多くの方達が仕事で関わるテーマになっていきます。それ故、大学においてもそういった事を学生たちにしっかりと考える機会を与えてはどうかと思います。高度成長時代の日本は世界で優位な立ち位置でしたが、今は状況が異なり、世界中の学生レベルは非常に上がっています。カーボンニュートラルをも知らずに仕事に就き海外企業と対峙していくのでは、出遅れてしまいかと思います。そういった観点で大学教育においても頑張ってもらいたいと思います。

若い人たちへの  
メッセージ

今、多くの国々で地球の温室効果ガスを2030年までに約半

分、2050年までにゼロにする(カーボンニュートラル)という目標が立てられています。これは大変Challengingな目標で、その実現には膨大なコストがかかります。国家・企業・国民の負担を考えると現実的とは考えづらく、更なる技術的なジャンプ(革新)が必要だと言われております。即ち、これからの人がカーボンニュートラル社会を実現してゆく事になります。大学で学んだ若い人たちは、自分たちが時代を担う主人公になるという気概を持って、より良い社会作りに向けて真剣に向き合って努力してほしいと思います。

そしてもう一つは、会社人生の7割を海外で過ごした先輩からのエールです。PMはとも大変な仕事でしたけど、数千人の人々を束ねるリーダーとしてプロジェクトを自分の考える方向に進め、世界中の人々と切磋琢磨したことで、自分も成長できたと思っております。地元に戻って仕事をするこことや両親との関係も大切だということとは理解しますが、折角、北大で高等教育を受けたのだから、ぜひ若い時に世界に出てチャレンジしてほしいと思います。世界には活躍する場はたくさんありますし、みなさんの力を求めています。Boys, be ambitious!

# 多磨霊園墓参

## 2023年の墓参を終えて

クラーク遺徳顕彰・墓参委員会 浅田清 (H1・歯)

毎年、北大東京同窓会では新渡戸稲造氏の命日にあたる10月16日の近くの日曜日に、多磨霊園の墓参を開催しています。ここ数年のコロナ禍の間は有志による墓参を

行ってきましたが、コロナも落ち着いたので、昨年はこれまでのように主催を東京同窓会に戻して10月8日に執り行い、18名が参加しました。



新渡戸坐像の前での集合写真

例年通り、多磨霊園入口前にある松野家石材店に午前10時30分に集合しました。当日の予定を説明した後、札幌から参加された石川満壽夫さんより最近の北大の様子を話していただき、また初参加の並木秀夫さんからは製作中の映画「新渡戸の夢」のご紹介がありました。

みんなでお店を出発し、新渡戸稲造氏の坐像に移動しました。坐像を洗ったり落ち葉拾いなどをしているとき、流し、清掃後に都ぞ弥

### ●参加された方々……

- 平田 更一 (S44・理)
  - 杉山 和彦 (S45・法)
  - 石川 満壽夫 (S46・工)
  - 坂倉 雅夫 (S48・農)
  - 村上 幸夫 (S48・理)
  - 細井 眞澄 (S49・工)
  - 並木 秀夫 (S57・水産)
  - 三村 直己 (S57・理)
  - 横田 秀一 (S60・歯)
  - 島田 久 (S61・工)
  - 萱野 聡 (S62・法)
  - 松浦 永治 (H8・法)
  - 池田 雄二 (H18・法)
  - 宗野 裕治 (H20・文)
  - 松田 直輝 (R3・農)
  - 杉山 ふみ子 (和彦氏夫人)
  - 坂下 節子
  - 浅田 清 (H1・歯)
- (敬称略)

写真撮影：松浦永治氏

生を歌い、集合写真を撮影しました。

この後、新渡戸稲造氏、内村鑑三氏、有島武郎氏、そして廣井勇氏の4つのお墓を順番に清掃して、それぞれ「都ぞ弥生」を歌い、集合写真を撮影しました。ただ有島氏のお墓では、彼が在学中の1900年に作詞した校歌「永久の幸」を歌いました。

また、廣井氏のお墓では、石川さんと坂倉さんから廣井氏にまつわる話がありました。それは昨年話題になったNHK朝ドラの「らんまん」についてです。このドラマは長田育恵作のフィクションで、主人公は植物学者で有名な牧野富太郎です。廣井勇と牧野富太郎は土佐藩佐川(高知県高岡郡佐川町)の一名教師に学んだ同郷・同い年の友人



新渡戸稲造の墓



内村鑑三の墓



有島武郎の墓



廣井勇の墓

で、廣井氏は広瀬佑一朗の名前でドラマに登場していました。最後に私が挨拶をして散会となりました。このたびも参加した方々の北大に対する熱い思いに感動しました。

北海道名物

# 松尾ジンギスカン

東京エリア 5店舗展開中

ジンギスカン銅をみんなで囲もう

飲み放題付 3種食べくらべセット 5,500円  
マトンジンギスカン食べ飲み放題 6,300円 (税込)

下記4店舗タッチパネル、無煙ロースター完備

店舗情報は こちらから

<b>新宿三丁目店 (74席)</b> 東京都新宿区新宿3-5-3 高山ランド 会館5F TEL 03-3226-2989	<b>赤坂店 (121席)</b> 東京都港区赤坂4-3-6 A-FLAG 赤坂B1 TEL 03-3585-2989	<b>銀座店 (67席)</b> 東京都中央区銀座5-9-5 チアーズ 銀座2F TEL 03-3572-2989	<b>秋葉原店 (70席)</b> 東京都千代田区外神田1-18-19 BITO AKIBA 5F TEL 03-3255-2989
--	--	--	---

**ジンギスカン消費量 国内大学No.1**

「北大」ご出身の皆様、懐かしの「松尾ジンギスカン」が東京でも楽しめます!!

ご利用可能店舗

- 新宿三丁目店
- 銀座店
- 赤坂店
- 秋葉原店
- 渋谷パルコ店

北海道大学様 限定クーポン

ご飲食代から

## 10% Off

回収印

※「北海道大学東京同窓会会員」様限定クーポンです。  
※本券は左記5店舗でのみご利用可能です。 ※他券・割引券併用不可

キッチン調理済みの定食・丼などを提供

東京都渋谷区宇田川町15-1 渋谷パルコ7F TEL 03-3461-2985

### 日建設計「気候非常事態宣言」

1. 私たちの働き方を革新し、日建設計の企業活動に起因する温室効果ガス排出を2050年にゼロとします。
2. 2050年の都市・建築デザインと働き方のカーボンニュートラルモデルを目標として提起し、2021～2050年で必要となる対策を年次計画として提示します。
3. これからの地域のあり方を展望し、インフラと建築の機能を融合した柔軟なシステムによる身近なカーボンニュートラルを提案します。
4. 企業の環境配慮を評価するスクリーニングシステムの構築を支援し、ESG 不動産/都市基盤投資の促進に貢献します。
5. クライアントと緊急行動の必要性を共有して課題解決を支援します。さらには社会に向けて発信して共感を呼びかけます。

上席理事 久保田 克己 (工・昭59・建)

# NIKKEN

EXPERIENCE, INTEGRATED

株式会社 日建設計 北海道オフィス  
 札幌市中央区大通西8-2住友商事・フカミヤ大通ビル  
 Tel. 011-241-9537 Fax.011-261-7673  
 URL: <https://www.nikken.co.jp>

# 文系合同東京同窓会 5年ぶりに開催される



講演「日本のエネルギー政策」

政策」を取り上げ、日本原子力研究開発機構理事長の小口法学部会長にお願いすることといたしました。原発の利用・改廃には様々な意見がある中、両面を分析した分かりやすい講演会でありました。

懇親会は司会のプロ、法学部渡辺克己さんの軽妙な語り口により楽しく、賑やかに進行了りました。幹事学部永松会長の開会あいさつ、並びに横田浩東京同窓会会長のメッセージ代読、奥野法学部前会長の乾杯でスタート、会の中でゲストでご来臨賜りました久



司会・渡辺克己さん

保田肇経済学研究院長による本学の状況、米山祐司経済学部同窓会副会長、塚田久美子事務局長による札幌同窓会の状況をお話し頂き、また、北大東京オフィスの脇ゆりりかさんからは新年交礼会の紹介など、盛り沢山の内容で会が進行しました。

本来ならば参加者全員に近況ご報告をお願いすべきではありませんが、時間の限りがあり最年長のS37年経済卒玉澤武之さん、最少のH30年経済卒栗原貴史さんを始め、以前フロンティア誌に登場された法学部柳隆夫さんと青木美希さん、文学部佐藤孝信さん、教



文学部・教育学部・法学部・経済学部

日時：2023年11月11日（土）12：30～  
会場：新宿ライオン会館

2018年以降、コロナの影響で実施できずにおりましたが、5年の時を経てようやく開催することができました。

文系学部の東京同窓会は、法学部・経済学部それぞれの開催を2年毎に法経合同での共同開催としておりましたが、2018年に法学部奥野滋会長、経済学部陣谷義直会長の強い意向により、文学部と教育学部を加えた文系4学部合同の開催を決定した経緯があります。

初めての合同同窓会がそれまで以上に若手OB・OGにも参加して頂き、賑やかな会であったことから、2年に一度は文系合同での実施と決め、今回は経済学部が幹事となり開催を企画いたしました。



法学部同窓会 小口正範会長



経済学部同窓会 永松昌一会長

から小口正範会長に、経済学部が陣谷会長から永松昌一会長に交代しており、両会長にとって初めての共催となりましたが、両会長とも多忙な日程を調整頂き、また同窓生の参加しやすい日程を考慮して、11月11日（土）12時30分からの開催といたしました。しばらく時間が空いた会合ゆえ集まり具合が懸念されましたが、54名もの方に参加して頂きほっとしております。

冒頭の講演は参加者の関心が高いと思われる「日本のエネルギー



経済学部事務局  
菅 誠  
(S52 経)



最年長の玉澤武之先輩

育学部坂口惣亮さんなどからスピーチを頂き、あつという間の2時間が経過。陣谷前経済学部会長の中締め挨拶、そして参加者全員が肩を組んで「都ぞ弥生」を熱唱し幕を閉じました。

文系各学部だけでは多人数が集まるのが難しい現状なので、来年以降も4学部の合同開催により、老若男女多彩な皆さんとの顔合わせができることを期待します。



「都ぞ弥生」熱唱

## 旧交を温める



陣谷 義直  
(S51 経)

5年振りの同窓会でした。19年に経済単独の同窓会を予定しましたが、大型台風襲来で中止、その

後はコロナ感染で開催できませんでした。23年1月には吉見副学長が現役のまま61歳の若さで急逝されました。私が経済学部東京同窓会会長の時、東京の同窓会に来賓として出席していただき誠に残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。19年の同窓会は、83年経済卒・大石さんが経営する老舗フレンチレストラン「こけし」で開催する予定でした。今回、隣り合わせた大石さんに現況をお尋ねすると、コロナでレストランは休業に追い

込まれ、今はレストランを取り壊し、新たにビルを建て規模は縮小するものの「こけし」を2年後に再開することでした。コロナ感染に直面した経営者のご苦労が偲ばれるお話でありました。再開時には是非とも中止となった経済同窓会を「こけし」で開催し応援したいの思いが込み上げました。そして久しぶりの「都ぞ弥生」を歌い、用意された2次会の席に向い、多くの方と対面でお話できた一日となりました。





# エルム談話室

活動報告

## 再開したエルム談話室

●エルム談話室とは？

平田更一（S44理）

毎月第一金曜日の14時から開催する『エルム談話室』に講師役をお願いすると、決まって「平日の昼過ぎから開始する談話室はどんな内容？どういう人が集まるの？」という質問が返ってきてきま。一言では説明が付かないが、すでに企業での最前線を離れた、あるいは第2の職場で淡々と人生を振り返っている人などは、喜んで話題提供をするための資料をまとめていただいている。

談話室と言う名称のように、自己を表に論争する場ではない。成功例を自慢げに話す場でもない、まして、自己の意見に賛成してくれる多数派工作する場でもない。私は、単純に「旅行や、山登りの自分の面白い体験例の紹介」「一人で初体験するのは気が引けるが、多数なら楽しんでみたい」「最近本を出版したが宣伝したい」「一

人で飲むことが多いが、偶には同じ世代の人と飲みたい」などと考えている方に、喜んで機会を提供するのでお話し下さいと返答しています。

●暖かい空気が流れる『場』

いつから開始したのか正確な年次は不明ですが、私が前任者から引き受けてから早くも10年を過ぎようとしている。前の代表者は、官庁や商社で功成り名を遂げた方をよくご存知で、良く休みを取って来られたと思うくらいの霞が関の要職にある方が、今話題の的となっているテーマでお話されていた。鳥インフルが流行った時は全くタイミングよく専門家がお話された。また、輸入過剰な日本の食料問題のお話を聞いてからすでに何年も経過するが一向に改善される気配もなく、時間のみが経過

している。聞く側にとつて切実な老化についての話は、非常にメリハリの利いた声の講師から老化現象の研究の最前線をお聞きしました。その方が亡くなられたと奥様から連絡を頂いたが、多分最後まで気丈に「生きる」と戦われていたと想像しています。当然のごとく同窓生の奥様もお元気で、後日、眼の不自由な方々へのボランティア活動のお話をして頂きました。

●外へ出よう

談話室の場所は、北大東京オフィスの会議室をお借りしているのですが室内の談話室に留まらず、ツテを辿って外を歩きました。鴨川シーワールドでは、観光バスを借り切ってイルカのショーを楽しみ、冷たいビールをご馳走になりました。帰りの海ホテルから見た見事な夕焼けにただ感激しました。

日本競馬会では貴賓席を予約してもらい、万馬券の飛び交う競馬を楽しみました。初めて競馬場へ入場した方が多かったというお話を聞きましたが、馬券が的中した

●非会員でも楽しんで

エルム談話室は、高田馬場に同窓会の事務局があった頃から毎月開催し、事務局に甘えて非会員の参加も大目に見てもらっています。と言いながら、圧倒的に多いのは同窓会会員です。

講師役が同窓会会員だとどうしても、お話の内容が狭まってしまうのではないかと案じていましたが、今まで非会員の講師は官庁の方や、特別なボランティア活動を



方はさぞや興奮したものだと思っています。東京湾の野鳥公園では、当時の日本野鳥の会専務理事さんに野鳥の種名や生態を教えてもらうという贅沢な趣味を楽しみました。オオタカが目の前で、野鳥をしっかりと抑えて、これから料理するという迫力を味わいました。

遠出と言うと、尾瀬の

されている方にお願いたくありません。今後もこのような形態が続くと思います。

2020年の東京都野鳥公園におけるバードウォッチングから、談話室は約3年間休みを戴いてきました。コロナが5類指定になった当時から、談話室を再開してほしいとの連絡を戴いてきました。長期に休むと集中していた開催意欲が萎えて、なかなか具体化することが出来ませんでした。

最初に相談したのは、バードウォッチングの次に予定していた、佐川光晴さんでした。あの人気作家のスケジュールは難しいと忠告してくれる方もいましたが、連絡すると何と2つ返事で承諾を戴くという幸運な経験をしました。再開2人目は、一昨年本を出版された高津俊司さんと決めていました。こちらも快諾を戴くという経過で、年内は予定が埋まりました。再開第1回が20人、第2回が14人、第3回が22人の参加者で予想以上の活気がありました。

今後も、同窓会会員の皆様のご期待に沿うような編成で、談話室を楽しみたいと念じております。そのためには、一芸に秀でた方をお持ちの方、豊富な人生経験を共有したいという方が居られれば、是非ご紹介ください。

### 11月の談話室

演題：『満天の花』～北海道誕生の前史



講師：佐川光晴 氏 (H1 法)

【要旨】北海道新聞などの夕刊紙に2019年2月から全370回連載された幕末歴史小説を紹介。主人公の「花」は出島のオランダ人商館員と、長崎の遊女のあいだに生まれた青い目の少女。オランダ語と英語を解することから海舟勝の通訳となり激動の時代で活躍する。花のみが架空の人物で物語はすべて史実に基づき展開、最後は榎本武揚の艦隊と共に箱館に向かう。

【プロフィール】大学時代は恵迪寮で自治会執行委員長を務める。屠畜場で働く自身をモデルとした小説『生活の設計』で2000年の第24回新潮新人賞を受賞。2021年度より北海道新聞社主催の有島青少年文芸賞選考委員。日中文化交流協会評議員。

### 12月の談話室

演題：鉄道技術者・大村卓一にみる北大の源流・フロンティア精神



講師：高津俊司 氏 (S48 工)

【要旨】札幌農学校工学科にて廣井勇の門下生として学んだ鉄道技術者・大村卓一の生涯を紹介しながら、北大の源流であるフロンティア精神についての私見を述べる。大村卓一は北海道炭砒鉄道の技師として北海道開拓鉄道に貢献し、大陸では朝鮮総督府鉄道局長、満鉄総裁となり、退任後も大陸で逝去している。

【プロフィール】1973年日本国有鉄道入社。1982-85外務省在イラク日本国大使館書記官（バグダット在住）。1991-93国連アジア太平洋経済社会委員会、鉄道担当課長（タイ在住）。現在は日本コンサルタンツ（株）でインド高速鉄道の調査、計画、設計などを担当。

### 1月の談話室

演題：ドキュメンタリー映画「新渡戸の夢」の紹介



講師：並木秀夫 氏 (S57 水・院)

【要旨】ドキュメンタリー映画『新渡戸の夢』について、野澤監督と並木プロデューサーから企画・製作までの経緯やドキュメンタリー映画製作の苦労などを紹介する。新渡戸は、日本人の精神を欧米に紹介した『BUSHIDO: The Soul of Japan』（邦題『武士道』）の著者であり、国際連盟事務次長を務めた国際人であるが、この映画では貧しくて学校に通えない人々のために札幌に創設した「遠友夜学校」をテーマにしている。

【プロフィール】エーザイ(株)、ミノファーゲン製薬、ジェイファーマ(株)、映画企画・製作(個人事業)。

昨年11月20日(月)、校友会エルム主催・北海道大学キャリアセンター共催による「保護者向け就職相談会」レイワの就活を学ぶ」が北海道大学東京オフィスを開催されました。このイベントは、校友会エルム会員(特に学部2〜3年生)の保護者を主な対象として、インターシッパのケジメなどを説明するとともに、

就活を控えた学生への支援に関するアドバイスを行うために、校友会エルムの就職・活動支援委員会が企画したものです。平日の夕方にもかかわらず、学生会員の保護者55名(対面20名、オンライン35名)が参加されました。当日の講師は、就職・活動支援委員会のメンバーであり、大手企業の採用に関わ

就活の親しいの? いいの? レイワの就活を学ぶ

WEBとリアルとの同時開催! 令和5年11月20日(月) 18:00~19:30

講師紹介 大手企業の採用に関わり、業界の実情を知る卒業生が親身になってアドバイス!

企業選考の傾向を解説します 採用選考の最新動向を解説します

高橋 寛 先生 萱野 聡 先生

お申し込み・参加方法

対面参加費には、北大ブランドのフィナンシェをご用意しております。お気軽にご参加ください。



校友会エルム事務局からの挨拶



萱野講師による説明

高橋講師によるアドバイス



就職相談会の様子

開催概要チラシ

り、業界の実情を知る卒業生でもある、高橋寛氏(農・S62年卒)と萱野聡氏(法・S62年卒)が務めました。最初に萱野講師から、「イマドキの企業採用活動」「イマドキの学生」「北大生の進路」について説明があった後、質疑応答に移り、高橋講師から就活を控えた学生の保護者が抱える不安や疑問に対して親身になって助言等がありました。会場には北大ブランドのフィナンシェや飲み物が用意され

るなど、気軽な雰囲気の中、質疑応答が行われ、盛会のうちに終了となりました。保護者から回答のあったアンケート(回答率62%)によると、「97%の参加者が満足した」という結果が得られました。また、来年度以降の継続実施を望む声が多く寄せられたことから、就職・活動支援委員会では、来年度には札幌と東京の2拠点で、保護者向け就職相談会を開催する方向で準備を進めているとのこと。

校友会エルム活動の様子

# 保護者向け就職相談会 レイワの就活を学ぶ開催

校友会エルム事務局



「本気」で結婚を目指す

北海道大学同窓会員様の

「成婚」をサポートいたします。

To achieve your happy marriage.

北海道大コース

通常登録料

33,000円(税込)

0円

受付時に「『FRONTIER』を見た」とお申し付けください。

## 46年の実績で成婚までサポート

株式会社ブライダルは創業以来46年にわたり、大学同窓会員の皆様をはじめ、たくさんの方々に成婚に導いてきました。少子化が叫ばれる昨今、当相談所は「幸せな結婚を実現する」という面で社会貢献を目指しています。

特に北海道大学の皆さま向けの「北海道大コース」は大変人気で、多くの同窓会員様にご利用いただいております。この「『FRONTIER』を見た」とお問い合わせ時にお申し付けいただいた方は、通常33,000円の登録料を【無料】にてご入会いただけます。本気で結婚を考えているお相手との出会いを求める方は、ぜひお問い合わせください。

定期的に「親御様無料説明会」を開催中です。

46年に渡るノウハウでお子様との会話の秘訣をお伝えしています。HP・フリーコールよりお気軽にご相談ください。

1978年創業

0120-415-412

ブライダル

検索



あなたと未来をつくる Bridal

営業時間: 平日 10:00~20:00 / 土・日・祝 10:00~18:00  
定休日: 月曜日(祝日は除く)・年末年始

https://www.bridal-vip.co.jp/

東京本社: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4-2 野村不動産西新宿ビル9F 名古屋本社: 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-7-13 コスモビル9F



# 北方民族博物館から 北の世界へ

私は現在、北海道立北方民族博物館（以下、北方民族博物館）で学芸員をしています。「学芸員」という職名はある程度知られていると思いますが、その具体的な仕事の内容を知っている人はあまりいないのではないのでしょうか。ここでは、私が北方民族博物館で携わってきた仕事を紹介してみたいと思います。

## ●北大理Ⅲ系から文学部へ

私は山形県出身ですが、北海道の自然に惹かれ、動物（哺乳類）の行動や生態を学びたいと思って北大理Ⅲ（生物）系に進学しました。しかし、おもな移行先だった理学部や農学部では、当時はそうした研究はおこなわれておらず、唯一文学部に「動物行動学」を扱っている研究室がありました。そこで、理系から少しだけあった枠を利用して、文学部の行動科学科に移行しました。

行動科学科では社会生態学講座に所属し、念願だった動物行動学



北大バドミントン部の仲間たちと

の勉強を始めました。この講座の構成は変わっていて、主任の岡田教授は文化人類学、私の指導教官・鈴木助教が動物行動学を専門としていました。ただ、文学部での動物研究は、自然のなかで純粋に動物の行動や生態を扱うというのとはちよつと違っていました。大学院まで進みましたが、その後の展望が描けずに煮詰まっていたところに、北方民族博物館の学芸員募集がありました。たまたま学芸員の資格を取っていたこと

や、岡田先生からの勧めもあり、採用試験を経て北方民族博物館に行くことになりました。

## ●網走で暮らす

北方民族博物館は、世界の北方地域に暮らす先住民の文化を対象とした北海道立の博物館で、1991年2月に網走市に開館しました。一般の道職員は道内各地に異動しますが、北海道教育委員会所管の道立博物館は一つしかありません。つまり、北方民族博物館に学芸員として就職した場合、退職まで網走に住むこととなります。私にとつて網走は生まれて初めて暮らす場所、職場に研究室の先輩が一人いた以外には知り合いもいませんでした。この網走に住み着き、仕事を続けることができたのは、実は大学まで部活でやっていたバドミントンのおかげではないかと思っています。

学生時代、私は体育会のバドミントン部に所属し、日々の練習や大会、そして数々の飲み会も含め、どつぶりと部活動に浸っていました。卒業後は少し離れていましたが、網走に赴任してすぐに市



北海道立北方民族博物館  
主任学芸員  
中田 篤 (H8 文学・院)

の協会に入り、バドミントンを再開しました。バドミントンには最低2人が必要ですので、練習するにも必ず誰かとコミュニケーションを取らなければなりません。また、当時の網走市協会のメンバーは、練習やゲームで汗を流した後、しょつちゅう飲み会を開催していました。おかげで、移住後の割と早い段階で、バドミントンを通じて多くの網走市民と知り合いになりました。こうした職場とは離れた人間関係が、初めての土地に溶け込み、安定した暮らしを送るための拠り所になってくれたように思います。

## ●北方民族博物館での 仕事と研究

博物館の役割は、一般に資料の収集・保管、展示・教育普及、調査研究などとされています。しかし、扱うテーマや規模などに応じ、博物館によって実際の業務内

容はまちまちです。北方民族博物館の場合、学芸員の仕事は、展示室や収蔵庫の保守管理、一般市民や子ども向けの講座・講習会、特別展などの企画・実施、一般の方やマスコミからの問い合わせへの対応、民族資料や本の収集・整理・保管、ニュースレターや報告書に掲載する記事の執筆、編集など多岐にわたります。

最初の数年はこれらの仕事を覚えるのに手一杯でしたが、せっかくなので学芸員（Ⅱ研究職）として採用されたので、北方民族博物館の守

備範囲のなかで自分の興味や大学院での専門が活かせる研究をしたかと思っていました。そして最終的にトナカイ牧畜を研究テーマに据えることにしました。

## ●フィールドワークに出かける

ユーラシア大陸北部では、おもに先住民の生業活動として広く家畜トナカイの牧畜がおこなわれています。トナカイを放牧し、その肉や乳を食物とするほか、トナカイに騎乗したり、トナカイに引かせたそりを移動・輸送手段として活用してきたのです。北方先住民が家畜トナカイとどのような関係を築き、原野に放牧されるトナカイたちをどのようにコントロールしているのかに興味を湧きました。

モンゴルでのフィールドワーク



そこで、まずモンゴル北部でトナカイを飼っている人たちの元にフィールドワークに出かけました。博物館の日常業務もあるの、フィールドワークは年に1〜2回、それぞれ2〜3週間ほどが限度です。最初は自費で有給休暇を利用して出かけ、その後は民間の研究補助金や科研費を使って現地を訪れ、地域の人

の家にホームステイしながら、トナカイをどのように放牧し、利用しているのかを教えてくださいました。



北大総合博物館で開催した企画展

その後、このモンゴルでの調査がきっかけで、総合地球環境学研究所の研究プロジェクト「温暖化するシベリアの自然と人―水循環をはじめとする陸域生態系変化への社会の適応」(シベリア・プロジェクト)に誘っていただきました。このプロジェクトは、おもにロシアのサハ共和国を調査地とし、地球温暖化に伴う自然環境の変化とそれが地域住民の社会に及ぼす影響について研究するというものでした。私もそのメンバーとして、環境変化とトナカイ牧畜との関係について、数年にわたりフィールドワークをおこなうことができました。

シベリア・プロジェクト終了後、北極域研究推進プロジェクト(ArcS)(2015〜2020年)にも参加させていただきました。これは文科省主導のさらに大規模なプロジェクトで、北極域の気候変動の解明と環境変化、社会への影響を明らかにすることを目標としたものです。このプロジェクト終盤には、北方民族博物館と

プロジェクトとの共同で、プロジェクトの研究成果とサハ共和国の民族文化を紹介する企画展「融ける大地―温暖化するシベリア―中央ヤクーチア」を開催しました。この企画展は、北方民族博物館のほか、移動展として北大総合博物館の企画展示室でも実施しました。

現在、ArcSの後継である北極域研究加速プロジェクト(ArcCSⅡ)がおこなわれ、私もメンバーに加えていただいています。しかし、新型コロナウイルスとその後のロシアによるウクライナ侵攻の影響で、ここ数年はシベリアでのフィールドワークができない状態が続いています。私の任期も長くは残されていませんが、また学芸員としてシベリアの知人やトナカイに会える日が来ることを願いながら、ロシア語の勉強とバドミントンを続けています。

網走を訪れる機会があります。ぜひ北方民族博物館にもお立ち寄り下さい。

北海道立北方民族博物館  
<https://hoppohm.org/index2.htm>

# 海外赴任と語学と私

仕事上、否応なしに外国語を学ぶこととなり、赴任先ではネイティブに鍛えられました。堪能とはいえないものの英語と中国語が身につく、異国の文化を楽しめるようになりました。

## ● 北大時代

1989年、昭和が終わる平成が始まるその年、北大理Ⅱ系に入學しました。「将来は海外へ行く」という漠然としたイメージだけは持っていて、札幌出身ということもありスキーが好きな高校時代の友人と「大学に入ったらカナダにスキーをしに行こう！」それを「ウイスラー計画」などと話していました。が、私は英語が大の苦手な学生生活は終わりを迎えたのでした。

## ● 仕事と英語

仕事は縁あつて香料会社に就職し、食品用香料の開発に従事しました。

した。社会人になり英語学習を意識はしつつも、英語を使う機会やモチベーションも無くなかなか進歩しない日々を過ごします。そんな中、一大転機が訪れ、当時まだ若手でしたが中国広州にあるグローバル会社への技術プレゼンテーションを任せられることになりました。しかし英語スキルに乏しく資料作りも難航し、協力を仰いだ米国籍の先輩に呆れられるほどでした。口頭用の原稿はその後インドネシアで再会することになる、英語が堪能なインドネシア人の指導を受けながらなんとか作り上げ、中国でのプレゼンテーションを終えたのでした。

この時に英語学習の必要性を強く実感し、のちに一念発起し某B英会話教室の短期集中レッスンに自腹でチャレンジしました。某Bのレッスン費は高いですが、通常より3割ほど安い平日昼間の短期集中コースを見つけ、夏休みを利用して通いました。連続7〜8コマの朝から夕方までの英会話レッスンを受けたので、一日のレッスンの終わりにには眩暈がする程だった。

たのを記憶しています。その後仕事で英語を使うようになるのですが、今現在でも英語の苦手意識は残ったままです。

## ● 仕事と中国語

2004年に会社から「今後中国ビジネスを強化するにあたって、中国語の習得にどのくらいの期間・費用が掛かるかのモデルケースとなって欲しい」と私を含め研究所から6名が選ばれました。そして週2回2時間、1年間200時間の中国語グループレッスンをスタートし、期間終了後、中国語検定4級合格が結果として求められました。中国語レッスンはまず



トライアスロン大会にて

**武田 寿弘**  
(H7 工院・合成化学)

発音から始めます。例えば日本語で「案内」の「あん」の発音と「案内」の「あん」という発音は、中国語では全く別の音として認識され、この違いを聞き取るのに難儀しました。苦勞の甲斐あり1年後に無事、中国語検定4級に合格し、さらに中国語が面白くなってしまい自分で学習を続けて3級合格に至りました。そうして中国語の上達と共に上海赴任への道が少しずつ近づいていることにその時は気づきませんでしたし、結局6名のうち中国赴任となったのは私だけなのでした。

## ● 上海赴任

2007年秋から上海赴任となりました。中国語を学習したとは言え仕事で使うにはまだまだ厳しい状態でした。数年後、新しいシステムを導入する際、研究員の代表としてシステム開発担当者（中国人）と折衝することになりました。英語が堪能な開発担当者とは会議では英語でのやり取りなのですが、議論が白熱してくるといつも相手は中国語で話し始めます。その頃は私も中国語の聞き取りがある程度出来るようになっていた



上海の活発な開発

ので拙い中国語で応戦しました。そうしてシステムが完成する頃には、いつの間にか会議の最初から最後まで全部中国語になっていました。中国語は堪能と言うほどのレベルでは決してないのですが、英語と違いたぬらぬらなく話せるのはこの時の経験があるからかも知れません。



ジャカルタの部屋からの眺め

## ● ジャカルタ赴任

2014年に上海から帰国後、しばらく日本で仕事をしていたが、インドネシアで研究室の立ち上げが必要とのことで、短期のシンガポール赴任を経て2019年よりジャカルタへ赴任しました。インドネシアは中華系が人口の2割を占めますが中国語は殆ど通じないので、再び英語と格闘することになります。幸か不幸かインドネシア支社のスタッフは英語が堪能な人ばかりで仕事は100%英語環境でした。一方、インドネシア語に関しては、習得する機会には恵まれず（本当は勉強する気がなかったのですが…）、ほんの片言程度しか話せな

司と英語でコミュニケーションをとっていることに、自分の成長（単に歳を取っただけ？）を実感しました。

## ● 海外旅行

若いころから「海外へ」のイメージを描いていたにも関わらず、なぜか独身時代には結局一度も海外旅行をせず、初めての海外旅行は新婚旅行でイタリヤでした。その後上海赴任時代は、春節（旧正月）に暖かい東南アジアの海辺のリゾート旅行が定番となりマレーシアやフィリピン、ベトナムへ行きました。春節は、多くの中国人にとって家族とゆっくり家で過ごす時期となるため、中国から国外に出るチケットが安く、日本発よりもかなりお得に海外旅行が楽しめました（現在は状況が変



南国のリゾートにて



上海での自転車レース

グローバル同窓生というほど海外で大きな成果は無いのですが、海外経験を通じ必要最小限の語学スキルと、海外へ出かけるフットワークの軽さは身につきました。少しでも私の経験が参考になればとの思いで綴らせていただきました。最後に祈り申し上げます。

## ● 最後に

グローバル同窓生というほど海外で大きな成果は無いのですが、海外経験を通じ必要最小限の語学スキルと、海外へ出かけるフットワークの軽さは身につきました。少しでも私の経験が参考になればとの思いで綴らせていただきました。最後に祈り申し上げます。

# 水素を使用した農業と発酵の可能性

## ◆看護婦を経験して思うこと

私は看護学科を卒業した正看護師です。学生時代はボート部に所属し、マナージャーとして朝4時に起きて茨戸の艇庫へ行き、30〜40人分のご飯を作ったり、艇の伴走ボートに乗り込みビデオ撮影をしていました。共に勝利を目指した仲間との時間は、何物にも変えられない貴重な思い出です。

卒業後、東京で看護師として20年以上様々な現場で働いてきました。内科、外科、救急、精神、小児、美容、先端医療などを経験していく中で、保険診療の医療では急性期は離脱させられても、慢性化してからの根本治療は厳しいと感じる日々でした。

私が看護師として働き始めた20年以上前、入院されていた明治生まれの方々は、厳しい病と治療の中でも他人を労わる心遣いのできる礼儀正しい方が多く、今とは明らかに違いました。それに比べて現代人は心も身体も弱くなっていると感じます。それはなぜか？戦後、教育や習慣や食事が変わってしまったことの影響ではないでしょうか。

うか。今の若い子たちは覇気がなく、海外に飛び出したりチャレンジすることのない大人しい若者ばかり、という年配の声をよく聞きます。一言で若い世代のせいにするのはあまりに酷だと感じます。しかし、心と身体はリンクし身体が弱いと心も弱くなるので、大きな要因の1つには食事の変化があると考えています。

## ◆現代の「食」について

現代の一般的な食事は、沢山の添加物、農薬&化学肥料を使用した野菜、抗生剤&ホルモン剤使用の畜産、そして野菜に含まれる栄養素自体が半分とも言われています。また欧米化した食事は、醗酵食品や繊維質を摂れず良い菌と共生できません。噛まないのので脳への刺激も少なく唾液と混ぜられないです。糖分の摂取が多く血糖値が急上昇しインスリンが急激に放出され血糖値を下げるにばかりです。結果として血糖値の乱高下が1日に頻繁

現代の一般的な食事は、沢山の添加物、農薬&化学肥料を使用した野菜、抗生剤&ホルモン剤使用の畜産、そして野菜に含まれる栄養素自体が半分とも言われています。また欧米化した食事は、醗酵食品や繊維質を摂れず良い菌と共生できません。噛まないのので脳への刺激も少なく唾液と混ぜられないです。糖分の摂取が多く血糖値が急上昇しインスリンが急激に放出され血糖値を下げるにばかりです。結果として血糖値の乱高下が1日に頻繁



育苗中に水素水を散布する様子



株式会社 Healthbuild 代表取締役 榎本 愛 (H11・医療技術短大) 看護学科

に起こります。こうした食事を摂っていると栄養素は不足し、精神的に不安定な状態になる可能性が高まります。健康には「食」を中心に、まず未病の促進と健康寿命を少しでも長くする。これが弊社の理念です。

今の会社は、医療従事者が逼迫したコロナ禍の時に医療の現場管理をしてほしいとの要請で起業し、その後、人々の健康に寄与する事業に舵の向きを変えて、今はさまざまなことにチャレンジしています。

その一つとして『オーソモレキュラー栄養医学』のディプロマを取得しました。それは栄養素とホルモンバランスを整えることで精神状

## ◆水素の力

「食」を考える時、そもそも「農」を見直す必要を感じました。自分が食べたい物がスーパーに無く、信頼して口に入れられる物がとても少ないと思うからです。一方、自然農法などと呼ばれている農薬や化学肥料を使わない農法では、生産性は確実に落ちます。草や虫

にやられ、農家はその対策に人力で対処しなければならず、大変な労力を費やし、モチベーションを維持するのは至難の業です。

そこで水素です。水素は、活性酸素という細胞を傷つける物質を無毒化する作用が有名です。人体への使用については、医学的にエビデンスが取れつつあり、慶應義塾大学病院では2016年には水素ガス治療開発センターを設立し、水素ガス吸引の臨床応用に向けて研究を始めています。2023年3月に、院外での心肺停止後蘇生患者に対する2%水素ガス吸入療法の有効性と安全性が証明されたこと、慶應義塾大学医学部と東京歯科大学の連名でプレスリリースされています。



稲刈りの様子

内外での水素イオンの濃度勾配により生成されており、水素イオンがいわば水力発電のダムの水のように働くと言われています。

水素水を撒くだけで、農薬や化学肥料を使わずに生産量と質を維持し、さらに向上させることが可能ではないかと思ひ、昨年、飛騨高山の田んぼに水素水を散布してお米を作りました。結果は「第25回来・食味分析鑑定コンクール国際大会」で、エントリーした約4500米の中で金賞受賞15米の1つになりました。とても嬉しく可能性を感じ、オンライン販売も検討しています。

また、水素が麹菌にどのような作用し醗酵過程が変化するか、試してみたいと考えています。真菌の細胞内にもミトコンドリアが存在するので、何かしら良い作用するのではないかと推測しています。そしてこの結果を、私が最も身体に良いお酒と考えている「生どぶろく」作りに活かさないかと思っております。

## ◆人を元気にするドブロク

ドブロクは製造工程で一度も濾しません。溶けたお米も栄養素も

そのまま、かつ「生」となる菌も生きた状態で瓶の中に居ることになります。開けると天井まで吹き上がるものもあるほどです。酒粕がそのまま含まれているので、お酒の代謝に必要不可欠なビタミンB群、美肌効果のあるアミノ酸、コレステロールを吸着して排泄したり便通を良くするレジスタントプロテイン等の成分が豊富で、生の状態で菌活しながら飲んで楽しくなれます。水素を使って育てたお米で、人を元気にするドブロクを作ることが2024年の事業計画の1つです。

昨年、飛騨高山の酒蔵に作ってもらい『麹煙 k i k u e n』という濁り酒をリリースしました。麹菌がお米を溶かし、そのブドウ糖をイースト菌がアルコールへ変換する。その過程でドブロクや濁り酒に生じる煙のようなモヤモヤは、栄養そのものであり菌たちの働きの証です。菌の恩恵を受け私達は生きています。良い菌と共生しよう、そんな思いか



金賞受賞(令和5年産米)



麹煙 Kikuen ~プロローグ~

←麹煙はこちら <https://kikuenjapan.stores.jp>



# 仕事も家庭も日々奮戦

## ◆北海道大学での日々

## ―弁護士&教員&兼業主夫―



佐野総合法律事務所(弁護士)  
慶應義塾大学大学院(助教)  
**栗原 貴史**  
(H30・経)

一年間の浪人の後、2014年に北海道大学に入学しました。大学紹介パンフレットを見て、この学校なら自由に大学生活を過ごすことができるかと直感できたのが志望した理由です。

北大には総合入試文系方式で受験したので、入学後にどの学部に進学するかを選択することになります。そのため学部選択には大変

悩みましたが、社会の根幹である経済を学ぶために経済学部に進学しました。学部では岡部洋實先生のゼミに所属して資本論や貨幣論といった分野について勉強させていただきました。経済学以外では、お酒が飲めるようになってから、北海道産のワインやウイスキーといったお酒について、道内を巡りながら先輩たちから学ばせて(?)いただきました。特に池田町のワイン城で飲んだワインは格別でした。



経済学部の仲間たち(本人は右端)

また、札幌での生活は非常に恵まれたものでした。大学が終わってから友人と一緒に札幌市内の温泉に出かけて、そのまま友人宅で食事をするということも多かったのです。さらには大学周辺には北大生に優しい飲食店も多く、地域に支えられているように感じています。今でも札幌旅行の際

には懐かしのお店は必ず訪れています。このような贅沢で楽しい生活と勉強ができる大学生活を謳歌していましたが、大学3年次の半ばになると、同級生が就職活動を開始するようになったので、私も周りに合わせる形で多少の就職活動を行うようになりました。とはいえ就職活動に身が入らず、就職活動をしたといえるものではなかったと思います。

就職先も定まらない微妙な立場に置かれた私は、専門性を身に付けて生きていこうという思いが強くなり、自身の所属学部とは分野の異なる最難関の国家資格である司法試験を受けようとして明確に決意しました(経済学部から司法試験に受ければかっこいいという気持ちもありました)。司法試験を本気で受験しようとした後は、ひたすら法科大学院入試に向けて法律を学習することになりました。法学と経済学では思考方法が異なるうえに、この時期は経済

## ◆大学院修了から弁護士へ

大学院を2020年に修了して同年に受験した司法試験に合格、その後司法修習を経て弁護士になりました。司法修習後は地元千葉県佐野総合法律事務所という事務所に籍を置くことになりました。佐野総合法律事務所は千葉県最大級の法律事務所、顧問先が多種多様な業種に及ぶために扱う案件も幅広いことが特徴です。これまで金融機関の債権回収や損害保険会社の保険金不正請求対応等

の企業法務と言われる事案から、交通事故や相続という一般的な民事事件まで、さまざまな案件を担当し、多くの経験を積ませていただいております。

私が専門とするのが保険関係の分野です。この分野は保険法や保険の仕組みなどの専門知識が必要になることに加え、依頼者と相手方、及び関係者とコミュニケーションをとりながら全員が納得できる落としどころを見つけ、相手方に提案するといった交渉力が試される分野です。私は保険分野の仕事に非常にやりがいを感じています。

弁護士になって感じたことは、法律知識が大切であることはもちろんですが、弁護士は対話力が大変重要になる職業であるということです。相談者は何かしらの不安を感じているはずですから、その不安を受け止め、相談者が納得できる不安の解消方法を提案することが必要になります。その中で対話力がなければ、相談者の必要なことが分からないので相談者の不安を解消することができません。まだまだ法律知識も対話



佐野総合法律事務所

受付 >>>>>

弁護士事務所の入口  
訴訟に用いられる起案(訴状、答弁書、準備書面といったもの)の基礎知識を指導しています。授業にあたっては、学生の得意・不得意を見分けながら、どのように説明すれば理解してくれるかを意識しています。  
慶應義塾も北海道



妻と旅行に行った上諏訪駅にある足湯

北大と慶應義塾、両校の自主性を育てる空気の中で多くのことを学び、周りの人にも恵まれて、自身の専門性を活かした仕事に就くことができましたことに感謝しております。またこの紙面で私の仕事を紹介します。この紙面を拝見していただく貴重な機会を頂戴しまして本当にありがとうございます。これから同窓会などでお会いする機会がありましたら、その時は何卒よろしくお願ひ申し上げます。

力も未熟なところが多くありますので研鑽に努めたいと思います。

## ◆慶應義塾大学大学院での教員生活

弁護士生活も2年目を迎えるようとしたところ、母校の慶應義塾から実務家教員として授業を担当してほしいとの話がありました。弁護士1年程度の若手に学生を指導することなどできないかと思いながらも、新しいことに全力で取り組もうと思ってお受けすることにしました。担当は憲法とそれに関する法律文章作成という、実務であり経験したことがない分野であるため、授業開始まで様々な文献を参照しながら必死で資料を作成して講義の準備を行いました。

現在、大学院での授業は訴訟の中で憲法論をどう活かすかを主眼

大学と同様、自主性を発揮しながら社会の発展に貢献するという校風の大学なので、意欲的な学生も多く、教員としても毎回の授業が楽しいです。また、慶應義塾には「社中協力」という慶應義塾に関わる人々が互いに協力し合う価値観があるので、講義にあたっては多くの方々に支えられて授業をすることができています。

## ◆家族と仕事

私が今このように仕事ができるのも、周囲の方々はもちろんのこと家族の支えがあつてこそだと思っています。私生活では妻と協力しながら家事と仕事を両立しています。妻も弁護士として活動



お寿司にもチャレンジ

しておりキャリアに対する考えもあるため、お互いの立場を尊重して、家事の分担割合は対等になっています。(とりわけ私が食事の準備をしていることは密かな自慢で、妻からも概ね高評価です)

## ◆最後に

家族の協力がなければ、自分の仕事を全力で行うことはできないので家族には大変感謝しています。そして、同じ専門職である妻が自分らしいキャリアを歩めるように日々支えていきたいと思っています。「家庭も仕事も」と両立するのは大変難しいことですが、お互いに知恵を出し合いながらなんとか乗り越えていきたいと思っています。

# 北から陽が昇ることの証明



TRIBE TOKYO MMA所属  
後藤 丈治 (H31・経)

北大経済学部を2019年に卒業した後藤丈治と申します。大学卒業後は、プロの総合格闘技選手として活動するために上京し、現在はRIZINという団体で戦っています。

総合格闘技という競技では、打撃と寝技などあらゆる攻撃（反則は除く）が許されたルールのもとで戦います。わざわざ殴り合わなくても生きていける時代に、なぜ私はこの競技に魅了され、熱中しているのか。

## ◆気づいたら金網の中で戦っていた高校時代

札幌で生まれ育ち、高校生活は札幌市立清田高校で過ごしました。ごく普通に高校生活を送っていた1年生の頃、地元の体育館へストレス発散のため運動しに行っていた際に、大人たちがどうやら格闘技らしい練習をしているのが目に入ってきました。興味をもった私は、その方々に声をかけて練習に入れていただきました。これが、総合格闘技との出会いになりました。当時は「地下格闘技」という、プロではないアマチュアの方々が

クラブなどで試合をするというのが流行っており、まさにそこに出場している方々との出会いとなりました。

そうして紆余曲折を経て、高校2年生まだ16歳の冬に、気づいたから地下のクラブで試合をしていました。詳細は寄稿文としては相応しくなさそうなので、割愛させていただきます。（noteから読めますのでお時間ある方は是非ご一読ください。）



## ◆プロ選手を目指し始めた大学時代

1年間の浪人を経て、北大経済学部に入學しました。高校時代は学年で下から10番以内の成績だったため、友人から合格を疑われた記憶があります。大学構内を歩くと、楽器の練習をする学生たちのいる広場や、遠くまで広がる並木道。私はあの空間が大好きでした。学校の準備をクラスのみんで行なった日々は、夢を見ているような暖かい時間でした。

そうした日々を送る一方で、格闘技の研鑽も続けていました。地

下格闘技の試合ではほとんど負けておらず、お山の大将になっていたました。そんな時、プロがいるジムで練習してみないかと誘われ、大学1年の冬、プロ格闘技選手を目指すべく本格的な練習を開始。初日の練習日、あれは水曜日の21時頃でした。天狗のように伸びきっていた私の鼻は、プロとの練習により一瞬でへし折られました。そうして地獄の日々が始まります。

## ◆第二章、上京編スタート

そこでの修行を続けてプロデビューをした後、さらに負荷をかけて前進するため上京を決意しました。選んだのは、練馬区にある「TRIBEMMA」という、日本で一番きつい練習という噂のジムでした。後にその噂が真実だったことを知るようになります。そうして



私のキャリアも例に漏れず、強い意志を持ち前に進み続け、急に訪れたチャンスに食らいつき、ものにしてきました。今出場しているRIZINでの試合も、予期せぬタイミングで北海道大会の開催が決まり、声をかけて

もらい、勝って良い未来をつくることができず。自分自身までも成し遂げていないですが、もしこれを読んでいる方の中で、これからの将来に不安があったり、何もやりたいことがないと落胆しているならば、参考にしてみてください。抽象的な未来像しかなくとも、これが格闘技という自分のものさしをもって、何を選ぶのかではなく何を選ばないのかを考える。強い意思を持ち決断し続けていけば、きっと良い未来を創っていきけると信じてます。

## ◆総合格闘家のカネと暮らしている

「そもそも格闘家ってどうやって飯を食ってるのさ？」と思っ

ている方のために格闘家のカネと暮らしているについて書いてみようと思います。格闘家としての収入は大きく分けて2つあります。1つはファイトマネーで、もう1つはスポンサー収入です。ファイトマネーの金額等は団体によって異なるのですが、多くの選手は、後者のスポンサー収入のほうが割合としては多い印象です。スポンサー収入とは、例えば試合をする際に着用するコスチュームに、企業のロゴや社名を掲載し、企業が掲載料を選手に支払うというものになります。その相場は選手によって異なる



RIZIN北海道大会出場(2023年6月24日)

りますが、若手選手だと1万円程度の場合もあれば、メジャー選手だと1桁数百万円になることもあります。スポンサー企業になるメリットとしては、心を共にして戦えることや宣伝効果を期待できるということもありますが、もう1つは、広告宣伝費として計上する場合、すべて損金扱いなので税金対策として活用できます。

ただ、格闘技の試合は選手にとって心身共に大きな負担となるため、年間にできる試合数に限りがあります。怪我がなく良いコンディションの選手でも、年間4試合ほどしかできません。試合

が決まってしまうからスケジュールとして、試合までのファイトキャンプ（追い込み練習）を6〜8週間で行い、試合後に1〜2週間体を休めて練習を再開するという流れです。練習内容は曜日によって異なり、1日1〜3部練習（1部は1〜2時間程度）をこなしていきます。心身に厳しい練習を行うのですが、その中で、将棋を打つように、様々な状況下で次なる最善の手をどう打てばいいのかが、頭と体のどちらも使う練習も多く取り入れています。格闘技では1つの判断ミスが、言葉通り命とりになるため、指1本の誤差もないような正しい習慣を身につけるべく、日々取り組んでいます。

## ◆自分にとっての格闘技

なぜ格闘技をやるのか、自分にとっての格闘技は何か。自分にとって、格闘技は「問い」だと思っています。試合を行う前日の夜。翌日は会場の数千人という客が見つめる中で、相手は全力で自分を殴り、蹴り、極めにくることを考える。そ

うした、死が迫るような極限の状態のときに、どのような精神で立ち向かえばいいのか。実力が伴わず知名度を得てしまってもよいものなのか。強くなりたいと皆が思うが、その強さとは何か。そうした、生きていく上で大切な問いを与えてくれるものが格闘技です。それに答える、答え続けることこそ、私が生きていく上で最も大事にしていることです。ここからまだまだ前に進み続けます。まずは、今出場しているRIZINで、上でのんびりしている上位陣を片っ端から介錯していきます。格闘家だけじゃなく、何かと戦うすべての人たちをリスペクトし、心を共に突っ走っていきたくと思っています。共に、北から陽を昇らせましょう。

試合の情報や近況はSNSにてチェックいただけますと幸いです。また、スポンサーや仕事のご依頼は、SNSのメッセージで頂けますと幸いです。

\*1 計画的偶発性理論(英語:Planned Happenstance Theory) スタンフォード大学のジョン・D・クランボルツ教授らが提案したキャリア論に関する考え方。個人のキャリアの8割は予想しない偶発的なことによって決定される。その偶然を計画的に設計し、自分のキャリアを良いものにしていくという考え方。





# 北大ハンドボール部 OB会総会を開催



2023年10月28日(土)、札幌市のホテルポールスター札幌にて北海道大学体育会ハンドボール部のOB会総会・懇親会が開催されました。北大ハンド部は長い歴史があるものの、OB会が正式に発足したのは2019年。直後の新型コロナウイルスのため、4年ぶりの活動再開となりました。参加者は総勢74名(現役含む)で、後期高齢者の1971年卒(10期)から2世代の大学1年まで、実に3世代のハンドボーラーが道内外より集いました。

## 1 総会・懇親会

梅田耕一会長(1972卒、11期)の挨拶で総会は始まり、部の黎明期のことや当時のOB活動などの様子をお話しいただきました。続いて西野泰史理事長(1977卒、16期)より総会議題の説明があり、全ての議案は満場一致で承認されました。本総会で役員改選が行われ、次年度より新会長として西野氏、副会長(兼理事長)として岡秀彌氏(1988卒、27期)がそれぞれ就任しました。また、複数の理事職(会計、名簿、総会、現役担当)を今回新設して会務を分担しました。特に現役担当理事には卒業したばかりのOBを充てる体制とし、現役の



ハンドボール部OB会  
理事  
矢崎 健一  
(H8農)

ニーズを汲み上げる橋渡しとしての役割が期待されます。総会後に同会場で開催した懇親会は、佐々布昭義副会長(1973年卒・12期)の乾杯の挨拶で始まり、久しぶりに集った面々が昔年の思い出を語り合う和やかな会となりました。勝木皓大主将(4年、63期)からは現役を代表して挨拶があり、翌月(2023年11月)に北海道代表として出場する全日本インカレへの熱意気込みと、OB OGからのこれまでの支援に感謝を述べました。近年の現役の目覚ましい活躍に感極まった年配OBの掛け声で台本にないカンパが始まり、中でも有り金全部財布ごとカンパしたOBに会場は大いに沸きました。また、自由登壇で往年のOBから、北海道のハンドボール史ともいえる貴重な思い出(11人制から7人制への移行、北海道学生連盟の創設など)が語られました。慣れないスーツに身を包んだ現



役は、歴代の大先輩の中で当初はやや緊張の面持ちでしたが、親(祖母?)世代のOBが縦横無尽に話しかけて気持ちもほぐれ、世代を超えたハンド談義に盛り上がりました。また、大企業や組織の線で活躍するOB周囲には就活する学生や院生OBがリクルート目的で集まったり、偶然学部の研究室でも先輩後輩の面々で意気投合したり、マネージャー同士で交流したり、会場のいたるところで会話が花が咲きました。

北大生の宴会の締めは当然「都ぞ弥生」の合唱となりますが、ここ数年のコロナ禍で現役や若いOB OGは歌う機会がありませんでした。それにも関わらず、現役1年生が見事な前口上を披露し、大きな輪の「都ぞ弥生」

が会場を高らかに響き渡りました。その1年生曰く、どうしても前口上をやりたくて前日に記録映像をみて練習したそうです。その一方で、歌詞をまったく覚えてなくてずっとハミングしていた現役生もいましたが、次の総会までには歌詞を覚えてきてください。

## 2 OB会・エルムクラブ

OB会発足以前から、近い世代間のOB OGの交流や現役への支援は継続的に行われておりました。2016年に東京で開催された7帝戦観戦の後にOB会結成にむけた懇親会が開かれ、これがきっかけで正式なOB会発足となりました。今後は新たな体制でこれまでの手厚い現役へのサポート

や定期的な懇親会などを行う予定です。

引退後もハンドボールを続けているOBは多いです。札幌で活動する「エルムクラブ」は、幾多の全国大会や国体出場を果たしている北海道有数の社会人チームで、1971年に浅井正大氏(1964年卒、3期)が監督、梅田会長が初代メンバーとして結成された北大OBチームでした。現在他大学のOBが中心ですが、最近再び北大OBが加入し始めています。また、首都圏在住のOBを中心に活動しているチームが「東京エルムクラブ」です。東京都社会人ハンドボールリーグの中でも最も歴史のあるチームのひとつで、戸島峰光氏(1974年卒、13期)、矢橋東人氏(1975年



「北海道マスターズ」大会でブロック優勝したOBチーム

卒、14期)を中心に結成されました。ここ数年は40〜50代のメンバーを中心に都リーグの若いチーム相手に奮闘していましたが、昨年新卒のOBが相次いで加入したことでチームが活気を取り戻し、今季は上位リーグへの入れ替え戦に臨みます。



# 新社会人歓迎 北大東京ジンパ 2024

日時(予定)

令和6年5月19日(日)

場所(予定)

昭和記念公園  
バーベキューガーデン  
東京都立川市

詳しくはホームページで

北大東京ジンパ

検索



5年ぶりの本格開催!  
いよいよギネスに挑戦!!



お問合せ:北大東京同窓会事務局

TEL:03-3211-9211 www.hokudai-tokyo.org

新社会人は参加費1,000円飲み放題!!

【専用サイト】 <https://peatix.com/event/3798262/view>



### 3 現役チームの活躍

ク優勝を飾りました。  
創部以来、常に北海道の大学ハンドボールをけん引している北大は、2015年秋に道内287連勝(当時)の記録を誇った函館大学を撃破、28年ぶりに全道優勝を果たしています。2021年に春秋連覇を達成、2023年には北海道開催の全日本インカレに出場、と優秀な成績を残しています。現在は3年生8名、2年生3名、1年生7名、マネージャー2名の



ハンドボール部OB会  
会長 西野泰史  
(S52理)

北大ハンドボール部は、昭和33年の創部で昨年65周年を迎えました。部の創設に尽力された諸先輩、そして、連綿たる活動を積み重ねてきた仲間たちには、感謝の気持ちで一杯です。  
一方、OB会は令和元年に設立したばかりで、その後は新型コロナウイルスの影響により、昨年の秋、4年ぶりに第2回の総会を開催しました。席上、私が今年度の会長に選

## ハンドボール部OB会の歴史を創る

計20名で活動しています。新チームには昨年主力メンバーが多く残り、また新メンバーの台頭もあり、次シーズンも活躍が期待されます。  
新型コロナウイルスのパンデミック時には体育館が使えず、部員で数人のチームを作って自主トレーニングでプレイの質をなんとか維持していました。現在は週3〜4回北大第2体育館で練習に励んでいます。学生自身で毎回テーマを設けて単調なメニューにならないように工夫しています。マネージャーは物品管理

任されましたので、役員、会員の皆さんと共に、今後のOB会の地歩を固めてまいり所存です。  
スポーツクラブのOB会には、会員の親睦交流はもとより、現役チームを支える重要な役割があります。彼らが思う存分ハンドボールを楽しみ、技量を高めることが、我々のこの上ない喜びであります。そのため、まずはOB会が安定的に財源を確保し、現役チームの経済的負担の軽減に努めてまいります。国立大学の宿命ではありますが、活動資金と指導者の確保が課題であり、七帝戦やインカレ遠征に伴う負担が学生の重荷と

や事務業務だけではなく、動画で練習の様子を撮影したりPCで試合を分析するなど、部員一丸となってチーム力アップに向けた努力を重ねています。  
昨年春には新歓イベントとしてハンドボール体験会を行いました。経験者・未経験者合わせて50名ほどの新1年生が参加し、体育館は大賑わいでした。昨年末には札幌の中高生対象に講習会を行い、大変好評でした。参加した生徒たちの多くが、「いつか北大でプレイしたい」と思ったようです。  
昨年春には新歓イベントとしてハンドボール体験会を行いました。経験者・未経験者合わせて50名ほどの新1年生が参加し、体育館は大賑わいでした。昨年末には札幌の中高生対象に講習会を行い、大変好評でした。参加した生徒たちの多くが、「いつか北大でプレイしたい」と思ったようです。  
に寂しさを感じております。個々の会員がOB会活動を通してハンドボールへの愛着を持ち続けることができれば、微力ながらも普及拡大に貢献するとの思いから、全国各地で開催されるマスターズ大会へのOBチームの積極的な参加なども後押ししてまいります。  
北大東京同窓会の皆様にも、今後ともハンドボールへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、末筆になり大変恐縮ですが、誌面を提供していただいた配慮に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。



高校生への講習会

最新の活動状況は  
北大ハンド部Instagramで発信中!  
<https://www.instagram.com/hokudaihand/>



## 北海道大学の研究成果を『商品』を通じて伝える 北大認定ブランド商品の取り組み

産学・地域協働推進機構 戦略企画部門 産学協働マネージャー 城野理佳子

「教育」「研究」に加えて「社会貢献」が強く求められています。産学・地域協働推進機構は、本学の研究成果を社会に還元するお手伝いをする中で、ウェルビーイング、技術革新、社会課題解決など社会に貢献することを目的として活動しています。

当機構で推進している北大認定ブランド商品の取り組みとは、企業様が本学の研究成果や農場生産物等を活用して作られた北大独自の商品に対して、「北大認定ブランド」としてお墨付きを与えることによって付加価値の高い商品を作って頂き、その売り上げの一部を大学に還元して頂く取り組みです。北海道のお土産としても人気の「札幌農学校クッキー」（株式会社社まのこや様）も北大認定ブランド商品であり、本学に還元頂いた寄付金は現役の学生さんの奨学金や大学の環境整備のために活用されています。

北大認定ブランド商品は、約90%が北海道内の企業様との協業



によって作られています。北大ガゴメ、北大短角牛、北大トラウト、北大ラスベリーなどは、道内の飲食店やホテルでも採用されたり、ふるさと納税の返礼品としても選定されており、北海道大学お

よび北海道の魅力を一一般の方に伝える絶好の機会となっています。当機構では以下の北大ブランドポリシーを定め、「北大ブランドは先人からの預かり物」という意識の下、ポリシーに賛同頂ける企業様に

のみ北大認定ブランド商品を作った頂くように心がけています。例えば、商品を作る過程では、商品内容やパッケージはもちろん、ホームページ、フライヤーの表現なども確認し、北大商品にふさわしい表記となっているかなど研究者にも確認を取りながら進めています。

◇北大ブランドのポリシー  
北大ブランドは北大のかけがえのない資産である。

◇創基以来148年に亘る

先人の歴史により

蓄積された無形財産

◇国内・海外に対する北大の

責任の象徴

◇学生・卒業生・教職員の誇り

北大認定ブランド商品を通じて、北海道大学を身近に感じて頂くきっかけになればと考えています。これから新しい商品も続々と登場致しますので、応援して頂けると幸いです。

### ■北大短角牛

新ひだか町にある静内研究牧場は、昭和25年、農林省新冠種畜場より所管換えされ北大農学部日高実験農場として発足しました。現在、肉用牛約150頭（日本短角種）、馬約100頭（北海道和種馬、乗用馬）を飼養し、国立大学の牧場としては最大規模です。北大短角牛はこの静内研究牧場で育てられた牛です。

和牛とは、黒毛和種、褐毛和種、無角和種、日本短角種の4品種と、それらの交雑種のことを指し、現在国内で飼育されている和牛の98%以上は黒毛和種です。日本短角種の最大の特徴は粗飼料の

利用性に富み、粗放な放牧でも野草を採食する能力が優れているとされています。この粗飼料とは、

草類・青刈り飼料作物・わら類などの繊維成分が多い飼料のことです。我が国の肉用牛には通常、濃厚飼料（穀実類・油粕類・ぬか類など）を与えますが、日本短角種に与える濃厚飼料は一般的に量の1/4〜1/3程度です。

静内研究牧場では、夏季は牧草地に肉牛を終日放牧して牧草のみを食べさせ、冬季は舎飼いします。その糞尿は採草地や飼料畑に還元し、化学肥料や購入飼料を極力少なくした物質循環を第一に考え、牛の健康にも配慮した持続可能な家畜生産システムを目指して

います。ヒトが摂取できる穀物はヒトが食べ、ヒトが食べても養分にはならない草をウシに与えて肉や乳に変えてもらう、そうしたウシ本来のあり方による飼育を実践しています。

### ■北大トラウト

北大短角牛の肉は、穀物飼料を与えられた霜降り肉とは異なりますが、赤身でしつかりとした歯ごたえがあり、噛むほどに濃厚なうま味が口に広がります。

サケマス類のブランド名です。サケマス類の中にはサケやクラマス、ニジマス、イトウ、イワナなど様々な種があり、生活のスタイルによって途中で名称が変わるものもあります。例えば、サケマスは海に下る降海型の名称で、川で一生を過ごす河川型はヤマメと呼ばれます。これらを総称するブランド名として「北大トラウト」としています。

北大ブランドに認定した『北大トラウト』は、サケマスとヤマメの2種で、『北大トラウト』燻製サクラマス』『北大トラウト』燻製ヤマメ』として販売しています。

### ■北大短角牛

「わかかテーブル」や「新ひだか町ふるさと納税」などで取り扱っています。



### ■北大トラウト

燻製サクラマス / 燻製ヤマメ  
「おしま産直マルシェ」などで取り扱っています。



一般財団法人HANS 代表理事  
ダクトリ動物病院 総合院長  
札幌市下州立獣医科大學客員教授 日本親善大使 (2011.2018)  
千葉科学大 全学員教授  
ダクトリ動物病院 東京出張所 代表理事  
東京都目黒区目黒1-21-1 TEL:03-6440-0750 FAX:03-6440-0751  
東京都目黒区目黒1-21-1 TEL:03-6440-0750 FAX:03-6440-0751  
東京都目黒区目黒1-21-1 TEL:03-6440-0750 FAX:03-6440-0751  
東京都目黒区目黒1-21-1 TEL:03-6440-0750 FAX:03-6440-0751  
東京都目黒区目黒1-21-1 TEL:03-6440-0750 FAX:03-6440-0751

**加藤 元** (獣・31)

**森 和弘**  
(歯・11)

北海道大学歯学部同窓会  
関東支部  
支部長  
**横田 秀一**  
(歯・60)

新日本相撲甚句会  
理事  
師範代  
**野呂 忠一**  
北海道三笠市心るまて応援大使 (業・39)

**北大東京同窓会**  
役員一同・事務局  
会長 **横田 浩** (経・60)  
事務局 **廣重 晃以** (法・55)

2024年(令和6年)  
寒中お見舞い  
申し上げます。

株式会社BlueMeme  
常勤監査役  
**杉山 和彦**  
(法・45)

行政改革推進会議  
E BPM 歳出改革等有識者グループ 構成員  
公益財団法人交通協力会  
常務理事  
**石堂 正信**  
(法・44)

Earthrise Nutritionals LLC  
(a Member of the DIC Group)  
President and CEO  
**大野 隆明**  
(水・H6・食・修)

北海道大学獣医学部同窓会  
関東支部  
支部長  
**境 政人**  
(獣・53)

北海道大学工学部同窓会  
東京支部  
支部長  
**井上 修平**  
(工・50 資源開発)

北海道大学校友会エルム会長  
(公財)産業教育振興中央会 理事長  
**杉江 和男**  
(工・45 応化修)

**石山 喬**  
(工・42 冶金)

JFEホールディングス株式会社  
名誉顧問  
**数土 文夫**  
(工・39 冶金)

**北水同窓会**  
**東京支部一同**  
支部長 **樋口 達夫** (水・50・食品・修)  
副支部長 **黒田 哲弘** (水・59・食品)

**北大スキ一部OB会**  
**東京支部**  
事務局長 **中村 秀治** (工・58/環科・60・修)  
理事 **高橋 寛** (農・62・農工)  
幹事 **依田 智子** (工・H4・合化・修)

株式会社IHI  
資源エネルギー環境事業領域  
技監  
**岩崎 哲也**  
(工・59 機)

北海道大学工学部  
化学系東京同窓会(北鐘)  
会長  
**近藤 伸一**  
(工・58 応化修)

有限会社ケーズオフィス  
代表取締役  
**川添 公貴**  
(工・56 応化)

**松谷 寛**  
(工・52 電子)

**社会医療法人**  
**財団大和会**  
**武蔵村山病院**  
院長 **鹿取 正道** (医・H3)

**東京フラテ会**  
会長 **畠山 昌則** (医・50)

ミルクデザイン株式会社  
代表取締役  
**山田 尚大**  
(工・H23 応物・修)

十条ケミカル株式会社  
代表取締役  
**小山 裕**  
(工・H4 金属)

尾瀬沼畔長蔵小屋  
尾瀬ヶ原第一長蔵小屋  
代表取締役  
**平野 太郎**  
(工・H3 衛生)

ワイエムエス株式会社  
代表取締役  
**島田 久**  
(工・61 金属)

一般社団法人  
札幌農学同窓会

東京支部 役員一同

理事長 櫻田 巧 (農・58・農経)  
副理事長 別所 智博 (農・56・農化)  
副理事長 高木 忍 (農・58・農化)

佐々木 豊実

(農・35・林学)

財界さくらぼろ

編集部記者

野口 晋一

(文・H・B)

北大経済学部

東京同窓会 役員一同

会長 永松 昌一 (経・57)  
事務局長 菅埜 誠 (経・52)

北大法学部

東京同窓会 役員一同

会長 小口 正範 (法・53)

一般社団法人緑の循環認証会議

専務理事

梶谷 辰哉

(農・50・林学)

技術士(建設部門)

坂倉 雅夫

(農・48・農工)

(社)札幌農学同窓会監事

松沢 幸一

(農・46・農化 / 48・修)

株式会社デイリーテクノ

代表取締役社長 農学博士

富田 守

(農・36・畜産)

株式会社町村農場

代表取締役

町村 均

(法・60)

北海道大学東京オフィス

副所長

廣重 勝彦

(法・57)

株式会社くらう

代表取締役

石川 裕一

(法・54)

公益社団法人北海道倶楽部

副理事長 兼 常務理事

DG株式会社

代表取締役

本間 修

(法・45)

JFE鋼板株式会社

代表取締役副社長

堀江 亮介

(法・61)

株式会社サクセスボード

代表取締役社長

菅野 聡

(法・62)

三井化学株式会社

代表取締役社長

橋本 修

(法・62)

北海道大学大学院法学研究科

研究科長 法学部長

尾崎 一郎

北海道大学法学部同窓会

会長

佐々木 亮子

(法・47)

北海道大学法学部同窓会

副会長 兼 事務局長

高橋 了

(法・47)

株式会社トクヤマ

代表取締役社長執行役員

横田 浩

(経・60)

常松公認会計士事務所

常松 尚史

(経・H・20)

Crowe GTA Myanmar Co., Ltd.

Managing Partner

瀬戸山 洋介

(農・H・12・農工)

新入会員

(令和5年7月)、敬称略  
荒井豪一(法・H・6)、長田和久(農・林産・S・54)、山田浩之(水・海洋・資源・H・27)、上原正人(獣医・S・48)、田中龍之介(農・農経・R・4)、菊池加奈子(薬・薬・S・60)、玉井浩之(法・S・63)、杉野堯子(工・環境・社会・H・29)、宮崎幹ミヒヤエル(工・環境・工・H・13)、千葉優作(工・資源・R・3)

訃報

令和5年7月以降にご逝去の  
お知らせをいただいた方々。  
敬称略

富田初(経・経済・S・27)、山西貞(農・水・S・21)、桜庭慎吾(農・農化・S・35)、森本賢幸(農・林産・S・37)、三枝昭三(農・農物・S・29)

# 北海道大学の近況

(2023年 夏・秋)

北海道大学社会共創部広報課

## 「UNIVASCUP 2023」 北海道地区総合ランキング1位を獲得

令和5年5月16日(火)、北海道大学が「UNIVASCUP 2022-23」で北海道地区総合ランキング1位を獲得したことを記念し、一般社団法人大学スポーツ協会(以下、「UNIVASC」)の池田敦司専務理事から、寶金清博総長に賞状とトロフィーが手渡されました。

UNIVASCは平成31年に創設され、以後、大学スポーツの振興と参画人口拡大に向けて活動しており、運動部学生のデュアルキャリア形成支援事業をはじめ、大学スポーツの安全安心な環境確立事業、ブランド価値向上及びDX推進等、数多くの事業を展開しています。



池田専務理事から寶金総長がトロフィーを受け取る様子

また、令和3年から、寶金総長はUNIVASCの理事にも名を連ねています。UNIVASCでは大学スポーツの振興を目的として、平成31年から競技横断型大学対抗戦「UNIVASCUP」を開催し、加盟217大学で総合ランキングを競っています。

北海道地区からも多くの大学が加盟する中、北海道大学は平成31年のUNIVASCUP開催以

### 総長一行が米国マサチューセッツ大学アマースト校を訪問

4月19日(水)～21日(金)、米国マサチューセッツ大学アマースト校 (UMass Amherst) を総長一行が訪問しました。同学は、札幌農学校初代教頭のウイリアム・スミス・クラーク博士が学長を務めたマサチューセッツ農科大学をルーツとし、互いに最も古くから大学間で交流しています。今回は寶金清博総長、高橋彩理事・副学長、既存研究連携のある情報科学研究院/化学反応創成研究拠点(ICReD)の吉岡真治教授、北方生物圏フィールド科学センターの星野洋一郎教授、農学研究院の

降、4年連続で北海道地区総合ランキング1位を獲得しています。池田専務理事からの総合ランキング1位獲得に関する説明を受け、寶金総長から、新型コロナウイルス感染症の影響により課外活動団体の部員数は減少したが、コロナ禍も終焉を迎え、課外活動が再興することを期待している旨のお話がありました。「UNIVASCUP 2022-23」の賞状とトロフィーは体育館エントランスに飾られていますので、お立ち寄りの際は是非ご覧ください。(学務部学生支援課)

愛甲哲也准教授、国際企画課の佐藤哲也課長、国際連携機構の植村妙菜URAの7名が訪問し、先方執行部と既存連携を鑑み更なる全学的な連携拡大について同学執行部と意識を共有したほか、アマースト郊外共同墓地にあるクラーク博士の墓前に供花し、19世紀当時に遙々北海道まで渡った苦難と、今日の両大学の連携に至る博士の功績に想いを馳せました。札幌農学校に縁のある品々を保管する図書館だけではなく、クラーク博士以降札幌農学校黎明期の教育を担ったウイリアム・ペ

ン・ブルックス博士が本学から持ち帰ったとされ、現在は米国の同種では最大規模としてナシヨナル・チャンピオンに登録されている楡の巨木や、芸術学部のスタジオオになつているクラーク博士の名を冠したホールなど、大学の歴史に触れる訪問となりました。また、毎年土作りから市場への卸しまでを行う学生農場、果樹園、個人私有林の調査を行うファミリー・フォレストリサーチセンターといった農学関連施設から、2018年に建設された学内外にオープンな共同研究施設で、29学部200名以上の研究者と100名の外部研究者が活動する異分野融合研究とスタートアップの創出拠点である応用生命科学研究所、高分子企業研究センターなどの研究施設や、別経営であるUMass

チャン・メディカルスクールと連携する医理工学科を訪問し、研究者や大学院生から説明を受けました。

研究担当のローラ・ヴァンデンバーグ副理事、自然科学部のナサニエル・ウイトカー



寶金総長とスバスワミー学長



クラーク博士の墓参り



果樹園



ジョン・W・オルバーデザイン棟

暫定学部長、応用生命科学研究所のピーター・レインハート所長との夕食会では、近年強化されてきた情報・計算科学、農学、高分子分野における研究交流と博士学生共同指導を振り返りまし

た。カンブル・スバスワミー学長主催の昼食会では、プロボストのトリシア・セリオ博士、カルペン・トリヴェイ国際担当副学長、マニング情報・計算科学部のローラ・ハース学部長、本学とのクロスアポイントメントにあるシュロモ・ジルバースタイン副学部長、ジェイムズ・アラン教授、ストックブリッジ農学校のバオシヤン・シン学部長、ナンディーター・マニ図書館長、

### 「北海道ユニバーシティアライアンス」を設置

日本語・日本学のステイブン・フォレスト上級講師が同席し、今後、戦略的研究パートナーシップ大学として、これまでの図書館員や事務職員の研修、研究人材の相互雇用の実績や、北海道とマサチューセッツ州の姉妹提携関係も踏まえ、2026年に迎える本学創基150周年から次の150年にむけた連携拡大への期待が共有されました。(国際連携機構)

北海道に所在する大学及び大

学を設置する法人(以下「大学等」という。)が、各大学等の特色及び強みを生かしながら、教育、研究、社会連携、産学連携等に関する情報の収集、共有及び

解析並びに具体的事業の検討及び実施を連携して行うことにより、シナジー効果を発揮し、もつ

て北海道における地域課題の解決に資することを目的として、そのプラットフォームとなる「北

海道ユニバーシティアライアンス」を6月19日(月)に設置しました。

本アライアンスは、設置当初は以下の8大学等によりスタートしますが、今後、設置目的に賛同する大学等に順次参画いた

る。

だくことを想定しています。

・国立大学法人北海道大学

・国立大学法人北海道教育大学

・国立大学法人室蘭工業大学

・国立大学法人北海道国立大学機構

・国立大学法人北海道国立大学機構 小樽商科大学

・国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学

・国立大学法人北海道国立大学機構 北見工業大学

・国立大学法人旭川医科大学

なお、本アライアンスにおいては、北海道の大学全体の研究振興に向けた連携をはじめとして、教育、社会連携、産学連携等広くカバーしていきます。(総務企画部総務課)

### 創成研究機構化学反応創成研究拠点 (WPI-ICReDD) が新棟落成記念行事を開催

6月16日(金)、創成研究機構化学反応創成研究拠点(WPI-ICReDD)の新棟落成記念式典を開催しました。

令和5年2月末、北海道大学札幌キャンパス内の北キャンパス地区にICReDD専用新たな研究棟(北キャンパス総合研究棟8号館)が完成しました。



テープカットの様子



前田ICReDD拠点長からの挨拶



フュージョンリサーチオフィス内観の様子

新棟は異分野の研究者が一つの空間に集い、密な連携を可能とするアンダーワンルーフ型の研究施設として設計されており、ICReDDにおける計算科学・情報科学・実験科学の3分野融合研究のさらなる加速化が期待されます。また、従来施設に比べ50%以上の省エネルギー化を実現した建築として、環境に配慮した施設となっており、「ZEB Ready」相当の認証を得ています。

式典に引き続き、新棟内覧会を開催しました。内覧会では新棟の建築上の特徴や実験室、最先端の装置、研究室の特徴を説明し、中でも新棟の大きな特徴である、2フロアにまたがる広い吹き抜け空間に、約100名の

### 北海道大学栄誉賞を横山清氏に授与

8月1日(火)、工学研究院フロンティア応用科学研究棟において、株式会社アークス代表取締役社長である横山清氏に対する北海道大学栄誉賞授与式が執り行われました。



(総務企画部総務課)

恵迪寮同窓会理事長等を務められ、本学の発展に多大なご尽力をいただいています。

### スマート農業教育研究センター開所式を挙

農学研究院と北方生物圏ワールド科学センターは、スマート農業の教育・研究を通して持続的社会的の実現を目指したスマート農業教育研究センターを設置し、8月31日(木)に開所式を挙りました。スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する新しい農業技術です。スマート農業には労働力不足の解消、データによる農作業技術の継承、農産物の品質向上・収量増など数多くのメリットがあり、さらに環境・エネルギー面での持続性確保においても貢献で

研究者が分野の垣根を越えてデスクを構える「フュージョンリサーチオフィス」は、参加者からの関心を集めていました。最後に、ICReDDの前田理拠点長より閉会

### THEインパクトランキング4年連続国内1位を称える楯を拝受

6月14日(水)、イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education (THE:ティール・エイチ・イー)」が主催するシンポジウム「THE Masterclass Japan」が早稲田大学を会場に開催され、THEインパクトランキングにおいて、本学が2020年から4年連続で国内1位を獲得したことを称える楯が、THE社のシモーヌ・ディレーナアジア太平洋地区代表より授与されました。また、これに先立ち、本学の出村誠総長補佐が「北海道大学における持続可能な開発」と題して特別講演を行いました。



4年連続で国内1位を獲得したことを称える楯



楯を持つ横田篤理事・副学長と関係者

THEインパクトランキング



THEインパクトランキング2023で世界22位(国内1位)

は、気候変動に対する活動やジェンダーの平等、健康と福祉など、大学の社会貢献の取り組みを国連のSDGsの枠組みを使って評価するというものです。6月1日(木)に発表された「THEインパクトランキング2023」において、本学は総合ランキングで対象となった世界1591大学中、世界22位、国内では1位にランクインしています。(サステイナビリティ推進機構、統合URA研究マネジメントシステム)

けるため、世界的に研究開発が加速しています。農学研究院では、ICTやロボット技術を活用したスマート農業研究を30年以上にわたって行い、その成果は国内外に広く知られています。また、2022年度から北方生物圏ワールド科学センターが農林水産省スマート農業教育推進事業を受託し、スマート農業の社会実装に向けた教育プログラムの開発と運営を行っています。スマート農業教育研究センターのミッションは「学生教育」、「オープンラボ(研究開発)」、「実証フィールド(技術実証)」、「実演展示(社会啓発)」で、スマート農業技術の研究開発や技術実証を通じ、将来のスマート農業を担うリーダー的人材を育てることも大きな狙いとしています。また、北広島市にある日本ハムファイターズの新球場「北海道ボールパークドレレッジ」に本年6月に開設した株式会社クボタの農業学習施設「クボタアグリフロント」と連携して、青少年・子供たちへの農業問題と未来の農業に関する教育にも参画しています。



左から、東日本電信電話株式会社 澁谷代表取締役社長、株式会社クボタ 北尾代表取締役社長、農業・食品産業技術総合研究機構 久間理事長、文部科学省 西條大臣官房審議官、農林水産省農林水産技術会議事務局 東野昭浩研究総務官、東日本電信電話株式会社 澁谷直樹代表取締役社長、株式会社クボタの北尾裕一代表取締役社長らを来賓としてお招きし、北海道内外から約90人の出席がありました。開所式は資金清博総長のあいさつ、来賓祝辞、スマート農業教育研究センターの概要説明、テープカット、2つのテーマについてトークセッション、そして最後に施設内覧、ポスター展示、ローカル5Gを用いた複数のロボット農機の遠隔監視・操作の実演を行いました。(農学研究院・農学院・農学部)



祝辞を贈る鈴木北海道知事 挨拶する資金総長

### 半導体拠点形成推進本部を設置

10月1日(日)、北海道大学に新たな運営組織である半導体拠点形成推進本部(以下、「本部」)を設置しました。

本部は、北海道における半導体産業の振興に向けた動きが急速に進む中、産学官とのハブとして国・地域・産業界の課題解決に貢献するとともに、本学における半導体関連研究・人材育成等の推進を図ります。今後、半導体関連の学外機関と強固な連携体制を築くとともに、各部署が有する半導体の知見を結集することで、人材育成及び研究を推進する拠点となり、我が国における先端的な半導体産業の発展に向けて貢献していきます。

また、本体制による様々な取組を加速していくために、同日付けで熊本大学の清水聖幸副学長を、クロスアポイントメントにより、本学の副学長(半導体関連拠点)として招へいしました。同氏は半導体拠点の先進地にある熊本大学の産学連携担当副学長として、半導体分野の組織立ち上げに中心的



副学長に就任した清水教授



記者会見にて資金総長(左)と山口理事・副学長(右)



記者会見には本部の関係者のほか、学内5部署の長が出席

な役割を果たしており、本学における半導体分野の教育・研究・社会連携体制の迅速かつ円滑な強化が期待されます。

10月4日(水)には記者会見を開催し、資金清博総長からの挨拶の後、本部長である山口淳二理事・副学長による本部の設置目的・任務等についての説明のほか、半導体に関する研究者を有する5部署(工学研究院、情報科学研究院、理学研究院、電子科学研究所、量子集積エレクトロニクス研究センター)から、特色ある半導体関連研究について紹介を行いました。(水産科学院・水産科学研究院・水産学部)

### 北海道ユニバーシティアライアンス第1回運営会議を開催

9月21日(木)、京王プラザホテル札幌において「北海道ユニバーシティアライアンス第1回運営会議」を開催しました。

北海道ユニバーシティアライアンスは、北海道における地域課題の解決に資することを目的として、北海道に所在する大学及び大学を設置する法人(以下「大学等」)が、各大学等の特色及び強みを生かしながら、教育、研究、社会連携、産学連携等に関する情報の収集、共有及び解析並びに具体的事業の検討及び実施を連携して行うためのプラットフォームとして設置したものです。

記念すべき第1回の運営会議には、構成大学等の関係者及び北海道

### 北海道大学ワイン教育研究センター開所式を挙

かねてより進められてきた旧昆虫学及養蚕学教室の改修工事が終了したため、9月28日(木)に北海道大学ワイン教育研究センターとしての開所式が挙行されました。旧昆虫学及養蚕学教室は、120年以上前の1901年に建築され、現キャンパスに移転した時に建てられた校舎の中で現存する最古のものです。また、この建

道総合政策部から約50名が出席しました。会議では、室蘭工業大学、小樽商科大学及び本学から、道内における大学間連携に関する現状や実績等について報告があった後、今後の方向性や具体的なプロジェクト等について活発な質疑応答や意見交換が交わされました。

本アライアンスには、現在、道内に所在する国立大学法人8大学等が参画していますが、今後はアライアンスの設置目的に賛同する公私立大学の参画も視野に、北海道の大学全体の研究振興に向けた連携をはじめとして、教育、社会連携、産学連携等の分野を幅広くカバーして連携を深めていく予定です。

(総務企画部総務課)

物の裏手北側には、1927年に建築された昆虫標本室があります。100年に及ぶ風雪に耐えたこの2つの建物を改修・再生し、さらに次の100年に耐えうる北大のシンボルとなるようにと、本改修は行われました。

前農学研究院長の西呂隆徳教授のリーダーシップのもと、工学研究院建築デザイン研究室の小澤丈

夫教授により設計され、創建当時の梁を活かし、その建築様式が見られるように工夫された天井部や、創建当時の姿を再現したシャウンテリアベイスなど、隅々に工夫が施されています。床材などに本学研究林のシラカバ材が使われるなど、現在の北大との融合も図られた設計になっております。本改修は、文部科学省施設整備事業費に加え、卒業生や関連企業から合計1億円を超える寄附をいただき実現しました。

改修した建物は、北海道大学ワイン教育研究センターと名付けられ、農学研究院連携研究部門融合研究分野寄附講座北海道ワインのヌーヴェルヴァーグ研究室を中心とした共同プロジェクト拠点「北海道ワイン教育研究センター」の教育研究活動の拠点として機能していきます。北海道のワイン産業は急速に発展し、山梨県、長野県に次ぐ国内第3位の57ワイナリーを数えるまでになりました。

本学では、北海道経済部と協力し「北海道ワインアカデミー」などワイン産業の支援を行ってまいりました



開所式を挙行した北海道大学ワイン教育研究センター

が、2021年4月にコープさっぽろ、ニトリホールディングス、道内ワイナリー等の寄附により寄附講座「北海道ワインのヌーヴェルヴァーグ研究室」を設置し、2022年には上記共同プロジェクト拠点を開設し、複数部署の教員が参加しワインの生産から消費に至るまでの諸問題を解決すべく研究を行っています。また、北海道や道内研究機関等と運営するワイン産業支援組織「北海道ワインプラットフォーム」の活動にも、このワイン教育研究センターの建物が使われていく予定です。

開所式には、鈴木直道北海道知事をはじめ、土屋俊亮北海道副知事、生活協同組合コープさっぽろの中島則裕理事長補佐、株式会社ニトリパブリックの荒井功代表取締役社長、株式会社クボタの木村浩人取締役専務執行役員、北海道経済連合会の藤井裕会長、北海道経済同友会の勝田直樹監事らを来賓としてお招きし、北海道内外から約60名の出席がありました。開所式は資金清博総長のあいさつ、来賓祝辞、ワイン教育研究センター概要説明のあと、棟内見学会を行いました。(農学院・農学研究院・農学部)

東京基準より北海道基準、北の夢。



代表取締役社長 石川 裕一

株式会社 ぶらう

〒060-0063

北海道札幌市中央区南三条西4丁目12-1 アルシュビル8階

TEL: 011-219-2223 FAX: 011-219-2885

コスモスイニシアのアクティブシニア向け分譲マンション

# INITIA GRAN

Sapporo East



札幌で人生を謳歌したい貴方へ。

image アリオ札幌(約470m/徒歩6分)

image サッポロファクトリー(約330m/徒歩5分)

≪「自由」も、「安心」も手に入れる≫  
シニア向けサービス付きマンション

一般的な分譲マンション + シニアに特化したサービス・サポート

## 「イニシアグラン札幌イースト」

サービスのポイント! **24時間 365日 専属コンシェルジュが常駐**

- 見守りサービス
- 看護・医療施設や介護事業者との連携
- 緊急駆けつけサービス
- 日常のお手伝いからお困りごとまでサポート

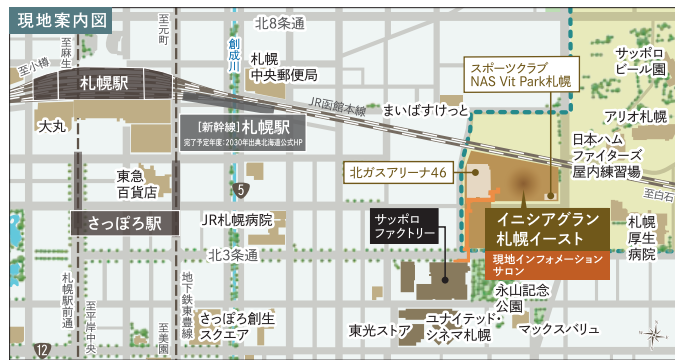
※医療行為は行いません。 ※夜間は夜間スタッフによる対応となり、日勤スタッフと業務内容が異なります。

専有面積 41.63㎡~70.78㎡

販売価格 2,968万円~5,428万円

### 資料請求受付中

詳しくはこちら



【イニシアグラン札幌イースト】■全体概要●所在地/北海道札幌市中央区北四条東七丁目375(地番)●交通/地下鉄南北線「さっぽろ」駅21番出口まで徒歩11分、地下鉄東豊線「さっぽろ」駅21番出口まで徒歩11分、函館本線「札幌」駅南口まで徒歩16分●構造・規模/鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上14階建●分譲後の権利形態/土地:団地建物所有者全員の再開発事業に基づく権利変換計画に定められた割合による敷地利用権(所有権)の共有、建物:専有部分:区分所有権、本マンション共用部分:区分所有者全員の専有面積割合による共有、本団地共用部分:団地建物所有者全員の再開発事業に基づく権利変換計画に定められた割合による共有●竣工時期/2021年9月竣工済●入居時期/即入居可●売主/株式会社コスモスイニシア●管理会社/大和ライフネクスト株式会社●管理形態/管理組合結成後、大和ライフネクスト株式会社に委託(管理形態:巡回)●駐車場/敷地内 平置き身障者用 5台収容、本団地内自走式立体駐車場 80台収容、敷地内 月額25,000円、本団地内自走式立体駐車場月額18,700円●自転車置場/66台収容(平置き)月額300円●サービス費/一人目 月額31,900円・二人目以降一人につき月額 15,950円●サービス保証金/一人目174,000円・二人目以降一人につき87,000円(入居時一括・退去時返還あり)●入居一時金/一人目550,000円・二人目以降一人につき275,000円(入居時一括)●その他/株式会社コスモライフサポートによる第三者管理方式●分譲中/販売概要●先着順申込受付中●販売戸数/46戸(2階~8階、10階~14階)●価格/2,968万円~5,428万円●最寄価格帯/4,400万円台(6戸)●間取り/1LDK~2LDK●専有面積/41.63㎡~70.78㎡●管理費/21,600円~36,700円(月額)●修繕積立金/4,900円~8,300円(月額)●修繕積立基金/416,300円~707,800円(入居時一括)●バルコニー面積/8.16㎡~35.07㎡●取引条件の有効期限/2024年3月31日●専有面積は壁面積であり、登記面積は記載の専有面積より若干少なくなります。予めご了承ください。●先着順申込受付につき、販売済みの場合はご了承ください。●お申込時には、印鑑、直近2年分の収入証明書、本人確認資料(運転免許証、健康保険証等)をお持ちください。詳細はお問い合わせください。●販売価格には建物についての消費税が含まれています。※本団地内自走式立体駐車場については、日本パーキング株式会社と直接契約していただきます。●お申込み前にお持ちの方はお薬手帳、要介護認定を受けている方は介護保険証をお持ちください。

売主

サービス企画・運営



イニシアグラン札幌 検索  
お問い合わせは「イニシアグラン札幌インフォメーションサロン」  
**0120-1248-22**  
営業時間:10:00~18:00 定休日:水・木・第3火曜日(祝日は営業いたします)

二次元コードから公式サイトへアクセスいただけます



## 事務局からのお知らせ

### 北大東京ジンパ 2024

日時:5月19日(日) 10時~(予定)  
会場:昭和記念公園バーベキュー会場  
新社会人は参加費1,000円で飲み放題!!



※申し込みなどについては、北大東京ジンパのホームページでご確認ください。



### 2024年度 東京同窓会 総会

日時:6月8日(土) 11時~  
会場:明治屋ホール 明治屋京橋ビル7F  
次第:11時 受付  
11時30分~12時30分 総会



総会終了後に地下1階の「モルチェ」で懇親会を行います。

※詳しくは総会議案書(5月発送予定)やホームページでご連絡いたします。



歳久人の北大あるある



イラスト©高野葵(H25環境科学院)



# 北海道の花

絵と文 鮫島 惇一郎

時の流れは早いものでもう五十年にもなる古い頃のことだ。江別の野幌に住む予定になつてしたが、自動車専用道建設のために諦めざるをえなかつた。すでに予定をしていた丸太小屋を建てる場所が失われたのだ。これには大変困つた

が、文京台で店を開いているお年寄りがいい人を教えてくれた。農地を潰して分譲地を造つたばかりの人だというのだ。その方に会つて話をして、現地を見せてもらつたとこの土地が気に入つた。頭の中ではもう丸太小屋の姿まで浮かんだ。すぐに

この土地購入の契約までしてしまつた。この土地の一角には複数のヤチダモやカラマツの原木が残されていて、これも気に入つたのだ。

年が變つた。北国の春は爆発的である。細い流れに光が投げ掛けられ、ミズバシヨウの純白な仏炎苞が並び、明るい黄のエゾノリュウキンカ、フクジュソウ、薄紅のエゾヤマザクラと春は忙しい。

やがて初夏、舗装などはまだ遠い存在であつたが、大きなヤチダモが一本、ここの主みたいに君臨していた。ある年このヤチダモを囲むようにキツリフネの花が開いていた。一年草と聞いていたが、量があると圧巻といえよう。その中に一株の赤い花に気がついた。ツリフネソウといつた。何処から運ばれてきたか知らない。そういえば隣の札幌の西岡水源地に沢山あつたな一と思ひだした。

どうなつたかな？と行つてみるとまだ花期には間があつた。ならば後日来てみるかと来てみたら、その草叢は刈り払われていた。

(昭25理・植)



ツリフネソウ

**FRONTIER** 北海道大学 東京同窓会 会報

第64号 2024年(令和16年)2月20日発行

発行所: 北海道大学東京同窓会  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
サピアタワー10階

☎03-3211-9211 ☎03-3211-9288

Eメール hokudaic@poppy.ocn.ne.jp

H P http://www.hokudai-tokyo.org/

発行人 横田 浩

編集人 高橋 寛 島田 久 高野 葵 浦崎 稔史  
山本 淳博 八谷 俊雄 青山 千穂 谷畑 敦史  
陣谷 義直



■最近、「急ぐべからず休むべからず」という言葉が気に入つている。遠友夜学校をテーマにした新渡戸稲造の映画に出てきたフレーズだが、このゲーテの言葉を新渡戸も好んでいたそうだと。もつと前からこの含蓄ある言葉を知つていたらと思うが、若い時に聞き流していただけたことかもしれないが。

いよいよ今春5月19日は、4年待たされたギネス挑戦付きの北大ジンパが開催される。参加人数の目標は2000人、同窓会も急がず休まず。

(島田久)

## 編集後記